

2014.10-12

ART NEWS TOKYO

ミュージアム+シアター最新情報

アート・ニュース・トーキョー

*Museum and
Theatre
Information*



ジブリの立体建造物展
江戸東京たてもの園、7月10日～12月14日
© Studio Ghibli

東京都庭園美術館

Tokyo Metropolitan Teien Art Museum

東京都江戸東京博物館

Tokyo Metropolitan Edo-Tokyo Museum

江戸東京たてもの園

Edo-Tokyo Open Air Architectural Museum

東京都写真美術館

Tokyo Metropolitan Museum of Photography

東京都現代美術館

Museum of Contemporary Art Tokyo

東京都美術館

Tokyo Metropolitan Art Museum

東京文化会館

Tokyo Bunka Kaikan

東京芸術劇場

Tokyo Metropolitan Theatre

トーキョーワンダーサイト

Tokyo Wonder Site

2014.10-12

ART NEWS TOKYO

ミュージアム+シアター最新情報

アート・ニュース・トーキョー

*Museum and
Theatre
Information*



秋のアートナビゲーター

狂言師 野村萬齋

Art Navigator of Autumn
Kyogen actor
Mansai Nomura



東京都歴史文化財団
TOKYO METROPOLITAN
FOUNDATION FOR
HISTORY AND CULTURE



伝統芸能×現代アートの出会い 『三番叟』と『ボレロ』を12月に上演

An encounter between traditional performing arts and contemporary arts
“Sanbaso” and “Bolero” to be performed in December

古典と現代の コラボレーション

日本には、能・狂言、歌舞伎、文楽、新派、新劇から舞踏まで、さまざまな身体表現が連綿と受け継がれて残っています。三谷幸喜さんからいまだに「600年前の御先祖様に会っている気がする」と言われてしまう私は中世の芸能をやっているわけで、現代にも多様な身体表現の伝統文化を受け継ぐ人たちがたくさんいます。

すでに、インスタレーションのような見せ方をさせたり、身体表現と映像を連動させたりする試みは多数行われてきました。さらに、古典と現代美術をマッチングさせるなど、今までにない他ジャンルと組み合わせたらどんなことが起きるのか。身体表現の可能性を広げるような試みに興味がありますし、みなさんがどう反応されるのかも気になるところです。

今回私が演じさせていただくのは、『三番叟』と『ボレロ』です。社会や身体をめぐる問題を映像やパフォーマンスなどを組み合わせた表現手段で問い続けてきたアーティスト・グループ、ダム・タイプのメンバーとしても活動されている高谷史郎さんとのコラボレーションを行います。祈禱

や儀式といった原始的で言葉を超えたところにあるもの、天地人の世界観を舞台上で表現したいと考えています。近代以降、人間は科学の進歩とともに神や自然をも凌駕する存在になったと錯覚し今に至るわけですが、震災などを経験して、ちょっと違うのではないかと気づき始めた。人間は森羅万象とともにあるもの、天地人の要素のひとつに過ぎないのではないかと。そういう意味で、自分たちの身体を人間中心の目線ではなく、もっと大きなもの、天と地、宇宙的というのか生命の根源なのか……マクロとミクロを往還するような発想で捉えられないかなと思っています。

『三番叟』とダンスのルーツ

『三番叟』というのは、不思議なことに老人の神が舞うんです。その前に若い千歳という役が露払いをするのですが、活きのいい人間と死の近い人間が舞う姿は、生と死の合わせ鏡のようで



エントランスの奥で野村萬齋さんを出迎えるのは、ヤノベケンジの作品

もありません。また、翁が黒い面をつけるのは実は死んでいるからだとか、実は翁は胎内にいる老人であるとか、さまざまな暗示や解釈があり、『三番叟』は、一歩間違えるとカルトの世界へ行ってしまう演目とも言えます（笑）。建前としては、天下泰平を祈り、五穀豊穡を寿ぐ儀礼曲であるとか、鈴を持って舞うのは日本神話、天の岩戸のアメノウズメの踊りに由来しているとか、いろいろあるのですが、本当にそうなのか、そうでなければならぬのかと思うこともあります。例えば足拍子を踏むところは、五穀豊穡を願って大地を踏みしめると言われていますが、どうもあの動きは、崇るものを祀りあげて神にするように、出てきてはいけなものを踏んづけているような気がしてならない。特に私は、建前的な表現から離れ出しているのかもしれませんが。実際、演じている時は無意識の境地です。ね。

もちろん農村で演じられる『三番叟』は泥臭く、まさに農耕儀礼として舞われています。足を交差させる動きは、田んぼのぬかるみにはまってしまった足を引き抜いて泥をはらう仕草が元になっていて、農村では、おおらかに、時にコミカルに演じられます。こういった農作業の動きを



秋のアート
ナビゲーター
狂言師
野村萬齋

Art Navigator of Autumn
Kyogen actor
Mansai Nomura

Mansai Nomura

野村 萬齋

この秋注目の展覧会、アートと身体表現の関係をテーマにした「東京アートミーティング（第5回）新たな系譜学をもとめて—跳躍／痕跡／身体」が東京都現代美術館で開催されています。展覧会の総合アドバイザーを務める野村萬齋さんに、伝統芸能と現代アート、日本と世界をつなぐ多彩な活動や本展でのパフォーマンスについてお話いただきました。

※本展は「東京文化発信プロジェクト」事業の一環として行います。

Photo: Atsuko Kitaura Interview: Kei Sakuma

Styling: KAN Nakagawara <C a N N> Hair & Makeup: Katsuhide Arai <e.a.t...>

撮影協力：東京都現代美術館

突き詰めて排除と洗練を加えると、地面から離れる足の「型」というものができるわけです。私どもの家では、この洗練作業が繰り返行われてきたので、本来の姿とはかけ離れた表現になっていることも事実。つまり『三番叟』には、人間の動きが舞いという身体表現に昇華する過程が痕跡として残っているとも言えますし、その意味で舞踏やコンテンポラリーダンスとの共通性などを見て取ることもできるのです。東京都現代美術館では実験的な『三番叟』を、国立劇場では父・万作の三番叟と私の千歳で本来の古典を披露



します(※)ので、見比べていただくのも面白いかもしれません。

ライブであることの求心力

狂言の舞台の多くが、「この辺りの者でござる」というセリフで始まります。日本であろうと海外であろうと、「この辺りの者」になるわけです。人間の想像力に訴えるところが大きい芸能ですよ。舞台も表現もとてもシンプルで無駄がない。最小のものが最大であるようなところもあり、海外公演の際は特にどこまで表現するか、ある種の駆け引きが必要になってきま

す。最初からわかりやすくすると話の先が予測されてしまうので、予測されない何か、まさに世阿弥の「秘すれば花」という言葉のニュアンスと重なる表現が求められます。そういう難しさもあるのですが、海外であってもお客様に見に来ていただける。生で見たいと思わせる求心力がライブにはあるんですね。これがパフォーマンスの強みなのか。最近つくづく、生きている人間が見て、生きている実感をする——これこそが芸術活動の根源なのではないかと思えます。

※東京文化発信プロジェクト「東京発・伝統WA感動 至高の芸、そして継承者〜狂言」。国立劇場にて10月28日(火)開催。詳しくはp.23を参照ください。

In Japan, bodily expressions in various genres such as Noh and Kyogen, Kabuki, Bunraku and butoh dancing remain as a genealogy. What I do is performing arts from the middle age period, and, in modern society, there are people who inherit a variety of traditional cultures that exist parallel to each other.

In such an environment, many attempts have been made to show bodily expressions in ways which link contemporary dance and visual images together or show that they were created in a similar form to an installation. What will happen if we put the classics and contemporary arts together, or if we make a combination, which has never been created before? This is the area I am interested in, and I would also like to know about the responses from others when they see it.

This time, I will be performing "Sanbaso" and "Bolero." I am aiming to express the

worldview of heaven, Earth and humans, which are primitive in the forms of prayers and rituals, and exist in a place beyond language. I would like to capture our bodies from something larger, such as the heaven and Earth, universe, or the origin of life...

The "Sanbaso" is supposed to be performed by god, who is an old man. Prior to this is a performance by a young man. The image of two men dancing seems to show a coupled mirror of life and death.

It can be said that the process of a human's movement being transformed into bodily expressions still remains as a trace in "Sanbaso." You can also see commonalities between "Sanbaso" and contemporary dance.

The way in which many Kyogen stages start is abstract as in, "I'm from this neighborhood." I think that it is a form of



performing arts, which appeals to the imagination of human beings.

Live performances have a centripetal force, which makes people want to see it live. Recently, I keenly considered that living humans watch what other living humans are

performing and realize that they are alive – this may be the exact root of artistic activities.

野村萬斎 Mansai Nomura

狂言師。1966年、東京生まれ。故六世野村万蔵、野村万作に師事。重要無形文化財総合指定者。「狂言ござる乃座」主宰。89年、東京藝術大学卒業。94年、文化庁芸術家在外研修制度により渡英。02年より世田谷パブリックシアター芸術監督。文化庁芸術祭演劇部門新人賞(99年)、紀伊國屋演劇賞(06年)、文化庁芸術祭優秀賞(12年)等、受賞多数。国内外で狂言・能公演に参加、普及に貢献する一方、現代劇・映画・TVドラマの主演、舞台演出など幅広く活躍。

Art spots recommended by Mansai Nomura

野村萬斎さんのおすすめアートのスポット



1 東京都現代美術館 Museum of Contemporary Art Tokyo

2015年に開館20周年を迎える現代美術専門の都立美術館。萬斎さんが総合アドバイザーを務める「東京アートミーティング(第5回)新たな系譜学をもとめて—跳躍/痕跡/身体」は2015年1月4日(日)まで開催中(P.12参照)。「三番叟」は12月3日(水)、「ボレロ」は12月17日(水)に公演。詳しくは www.mot-art-museum.jp

This is a Tokyo Metropolitan museum, which celebrates its 20th anniversary and is specialized in contemporary art. Tokyo Art Meeting (V) "Seeking New Genealogy" will be held until January 4 (Sun), 2015.

2 世田谷パブリックシアター Setagaya Public Theatre

萬斎さんが2002年から芸術監督を務めている世田谷区立の劇場。人気シリーズ「狂言劇場」は11月1日(土)~8日(土)、「MANSAI 解体新書」は11月9日(日)に開催。Tel. 03-5432-1515 (10:00~19:00)

This is a municipal theater where Mansai Nomura has held the position of art director since 2002.



撮影：細野晋司

世界を舞台に活動を展開している野村萬斎さん。東京で公演が見られる場所&おすすめのスポットを教えてくださいました。Mansai Nomura makes the world his stage. He has told us about places in Tokyo where his performances are available as well as spots that he recommends us to visit.



写真提供：国立能楽堂

3 国立能楽堂 National Noh Theatre

能・狂言の上演を専門に行う国立の文化施設。萬斎さん主宰の「狂言ござる乃座 50th」は10月22日(水)・25日(土)公演。Tel. 03-5981-9778 (万作の会)。11月28日(金)まで能楽資料を展示した「収蔵資料展」を開催。Since its opening in 1983, this national cultural facility has been specialized in holding Noh and Kyogen performances. The theater also offers events and viewing classes for both parents and their children to enjoy.

4 東京スカイツリー® Tokyo Skytree®

東京の新名所、高さ634mの自立式電波塔。萬斎さんは2012年の開業式典において、天望デッキにて東京を一望する景色をバックに『三番叟』を披露。

A new sight in Tokyo, which is a 634m high free-standing broadcasting tower. Mansai Nomura performed the "Sanbaso" on the Tokyo Skytree Observation Deck at the opening ceremony of the Skytree in 2012.



© TOKYO-SKYTREE

Art spots recommend by Mansai Nomura



東京都庭園美術館

Tokyo Metropolitan Teien Art Museum



本館外観
Exterior of the
Main Building

アーキテクト／1933／Shirokane

アール・デコ建築をみる

11月22日(土)～12月25日(木)

Architects / 1933 / Look at Shirokane Art Deco Architecture
Nov 22 Sat – Dec 25 Thu

1920年代のパリでアール・デコに魅せられ、その建築空間を日本に再現したいと願って朝香宮夫妻が建てた邸宅が、現在の東京都庭園美術館の本館です。建設には、フランス人デザイナーや宮内省内匠寮たくみりょうの技師たち、そして漆職人や左官職人など多くの人が関わり、新しい時代の表現を求め、技を競いました。休館中に行った修復・復元作業の成果（殿下居間の壁紙の復刻、「香水塔」の調査と修復など）や家具の展示によって、より竣工当時の雰囲気味わえるようになった旧朝香宮邸。この展覧会では、朝香宮邸建築に関わったアーキテクト（設計者・技術者たち）に焦点をあて、この建物が誕生するまでのストーリーを追い、歴史的建造物を未来に残す意義について問いかけます。

The Main building of this museum was built as the residence for the Prince Asaka Family in 1933. French designers and Japanese engineers, artisans, plasterers, and many others were involved as a way of seeking new expressions in a new era.

This exhibition will focus on the architects (designers and technicians) who were involved in the original Prince Asaka Residence and introduce their aims and their realizations. The results of renovated works, which were done during the latest renovation period, bring an even greater degree of freshness from the time the building was first built.

入場料:一般 700(560)円、大学生・専門学校生560(440)円、中学生・高校生・65歳以上350(280)円。※同時開催「内藤礼 信の感情」展も同じチケットでご覧いただけます。()内は20名以上の団体料金。小学生以下は無料。身体障害者手帳・愛の手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・被爆者健康手帳をお持ちの方と、その付添者2名は無料。

会場:東京都庭園美術館 本館
休館:第2・第4水曜日(ただし祝日の場合は開館、翌日休館)
主催:公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都庭園美術館

Admission: Adults: ¥700 / College and vocational students: ¥560 / Junior high and High school students, and seniors (65 and over): ¥350

Closed: 2nd and 4th Wed. (However, open if the day falls on a national holiday, then closed on the following day)

内藤礼 信の感情

11月22日(土)～12月25日(木)

Rei Naito the emotion of belief
Nov 22 Sat – Dec 25 Thu

「地上に存在していることは、それ自体、祝福であるのか」をテーマに探求を続けている現代美術作家 **内藤礼**。今回の展覧会では、木彫の小さい《ひと》が館内で来館者を待っています。地上に存在している私たちにふりそそぐ祝福—光や色や眼差し—を信じて。時間の積層や人の過ごした気配を感じる本館、そしてその先に現れる新館ギャラリーに、内藤礼の新作が命と色を吹き込みます。

“Is this existence on earth itself a blessing?,” then it becomes a theme for contemporary artist **Rei Naito**, for her to continue producing her works.

In this exhibition, tiny wooden “human” sculptures await visitors. They believe in the light, colors and gazes that bless all of us who exist on Earth.

Rei Naito's latest works will bring life and colors to the main building, the 1930s art deco style former residence with its patina of age and inhabitation, and the pristine new white cube exhibition space.



内藤礼《ひと》2014年
木にアクリル絵の具
Rei Naito, *human*, 2014,
acrylic on wood
Photo: Naoya Hatakeyama

入場料:一般700(560)円、大学生・専門学校生560(440)円、中学生・高校生・65歳以上350(280)円。※同時開催「アーキテクト／1933／Shirokane アール・デコ建築をみる」展も同じチケットでご覧いただけます。()内は20名以上の団体料金。小学生以下は無料。身体障害者手帳・愛の手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・被爆者健康手帳をお持ちの方と、その付添者2名は無料。

会場:東京都庭園美術館 本館、新館ギャラリー

休館:第2・第4水曜日(ただし祝日の場合は開館、翌日休館)

主催:公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都庭園美術館

Admission: Adults: ¥700 / College and vocational students: ¥560 / Junior high and High school students, and seniors (65 and over): ¥350

Closed: 2nd and 4th Wed. (However, open if the day falls on a national holiday, then closed on the following day)

Mini Information

新館でもう一つのお楽しみ

新館にはホワイトキューブの展示室のほか、ショップとカフェも併設。「メイドインジャパン」にこだわったオリジナルグッズやオリジナルケーキもお楽しみいただけます。



カフェ(イメージ)



《東京オリンピックポスター》(公式Bポスター) 1962年5月
デザイン:亀倉雄策 写真:早崎治 フォトディレクション:村越襄
Tokyo Olympic Games Poster
(Official B Poster) May 1962
掲載写真はすべて東京都江戸東京博物館蔵

東京オリンピック・パラリンピック開催50年記念特別展 東京オリンピックと新幹線

9月30日(火)～11月16日(日)

A Special Exhibition Commemorating the 50th Anniversary of the Tokyo Olympic and Paralympic Games Tokyo Olympics and the Bullet Train
Sep 30 Tue – Nov 16 Sun

2014年は、1964年の東京オリンピック・パラリンピックの開催、そして新幹線の開業から50年目の年にあたります。終戦後、日本は経済的な復興を果し、高度経済成長期を迎えます。その姿は東京に端的に現れ、交通網が発達し、市民の生活も住宅団地の登場や電化製品の普及により、急激に変化していきました。本展では、2020年の開催が決まった東京オリンピック・パラリンピックを記念し、1964年東京オリンピックおよび新幹線関係の資料を軸に、高度経済成長期の東京を紹介します。

The year 2014 marks the 50th anniversary of the Tokyo Olympic and Paralympic Games, as well as the inauguration of Shinkansen bullet train. In 1964, Japan was enjoying a period of high economic growth with a successful economic recovery after World War II. The results were directly seen in the city of Tokyo by the development of its transportation network, while people's life style was drastically changed with the construction of apartment blocks and the spread of home electronic appliances.

This exhibition, commemorating the Tokyo Olympic, Paralympic Games in 2020, shows Tokyo in the high economic growth period using core materials of the first Tokyo Olympic Games in 1964 and the Shinkansen bullet train.

入場料:一般 1,340(1,070)円、大学生・専門学校生1,070(850)円、小中高校生:65歳以上670(535)円。()内は20名以上の団体料金。身体障害者手帳・愛の手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・被爆者健康手帳をお持ちの方と、その付添者2名は無料。

会場:東京都江戸東京博物館 1階展示室

休館:月曜日(祝日の場合は翌日)

主催:公益財団法人東京都歴史文化財団
東京都江戸東京博物館、東映、読売新聞社、公益財団法人日本オリンピック委員会、公益財団法人日本障がい者スポーツ協会日本パラリンピック委員会

Admission: Adults: ¥1,340 / College and vocational students: ¥1,070 / Elementally and Junior High and High school students, and seniors (65 and over): ¥670

Closed: Mon (When Mon is a national holiday, closed on the following day)

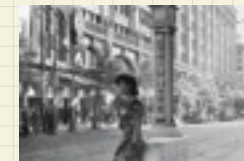


《東京オリンピックポスター》
(公式Dポスター) 1964年4月
デザイン:亀倉雄策
写真:早崎治
Tokyo Olympic Games Poster
(Official D Poster), 1964

Mini Information

写真でたどる、銀座50年史

企画展「モダン都市 銀座の記憶—写真家・師岡宏次の写した50年—」(10月7日～11月30日)では、師岡が1930年から撮影してきた銀座の写真から、その歴史と、集った人びとの姿をご覧ください。



師岡宏次《安全地帯の女性》1937年

江戸東京たてもの園

Edo-Tokyo Open Air Architectural Museum



© Studio Ghibli

ジブリの立体建造物展

7月10日(木)~12月14日(日)

Studio Ghibli: Architecture in Animation

July 10 Thu - Dec 14 Sun

本展では、スタジオジブリの映画最新作『思い出のマーニー』の湿っ地屋敷をはじめ、歴代のジブリ作品に登場した建造物にスポットを当て、背景画、美術ボードなどを多数展示します。また、今回のために制作した『千と千尋の神隠し』の油屋や『崖の上のポニョ』の宗介とポニョの家などの模型も見どころです。人の暮らしと建物の距離が離れつつある今、本展に展示される作品を入口に、人と密接な関係を持つ、建物の魅力が伝われば幸いです。

This exhibition will present the Marsh House featured in "When Marnie Was There," the latest film by Studio Ghibli, along with various architectures featured in the Ghibli works, and those background art and art boards.

Scale models for the bath house in "Spirited Away" and the house of Sosuke and Ponyo in "Ponyo on the Cliff by the Sea" that were newly created for this exhibition are one of the must-see pieces.

The exhibition expresses charms of architecture and buildings that have a close relationship with humans life.

入場料:一般400(320)円、大学生320(250)円、中学生(都外)・高校生・65歳以上200(160)円、小学生以下・中学生(都内)無料。()名は20名以上の団体料金。

会場:江戸東京たてもの園 展示室 ほか

休園:月曜日(祝日の場合は翌日)

主催:東京都、江戸東京たてもの園、スタジオジブリ

特別協賛:KDDI、アイフルホーム

協賛:EPSON、ア・ファクトリー

特別協力:三鷹の森ジブリ美術館

協力:日本テレビ、読売新聞社、ローソン、イープラス

Admission: Adults: ¥400 / College students: ¥320 / Junior high school students living outside Tokyo, high school students, and seniors (65 and over): ¥200, etc.

Closed: Mon (When Mon is a national holiday, closed on the following day)



カルチャラタン(『ココロコ坂から』)

Clubhouse ("From Up on Poppy Hill")

© 2011 高橋千鶴・佐山哲郎・GNDHDDT

草壁家(『となりのトトロ』)

The Kusakabe residence ("My Neighbor Totoro")

© 1988 二馬力・G

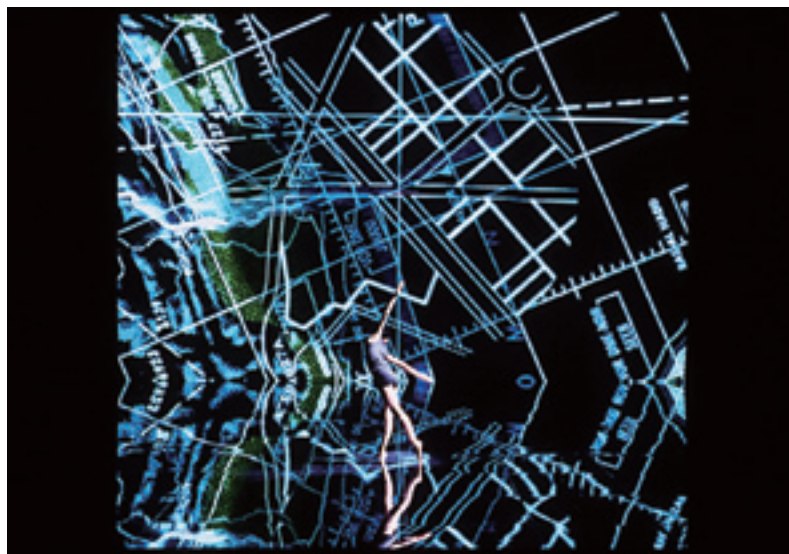
Mini Information

紅葉とたてものライトアップ

11月22日(土)~24日(月・休)まで、紅葉をはじめとする園内の木々やたてものをライトアップ。闇の中から浮かび上がる、幻想的な風景をお楽しみください。



紅葉と前川國男邸夜景



ダムタイプ《Voyage》2002年[参考図版]
Dumb Type, Voyage, 2002, [Reference image]
Photo: Kazuo Fukunaga

東京アートミーティング(第5回)

新たな系譜学をもとめて — 跳躍／痕跡／身体

9月27日(土)～2015年1月4日(日)

Tokyo Art Meeting V Seeking New Genealogy – Bodies / Leaps / Traces
Sep 27 Sat – Jan 4 Sun, 2015

現代アートとさまざまな分野の表現が出会うことで、新たな可能性を探求する東京アートミーティング。第5回のテーマは、アートと身体パフォーマンスの関係です。ダンスや舞踊は言語を超えたコミュニケーション、あるいは身体的な記憶として、私たちと深くかかわってきました。今回は狂言師、演出家、俳優など多彩な顔を持つ野村萬斎を総合アドバイザーにむかえ、歴史的、伝統的な表現と現代の多様化した表現メディアをつなぎ、新たな創造に結びつけます。また、展示室内をステージとしたライブパフォーマンスも行います。

The Tokyo Art Meeting explores new possibilities through the coming together of expressions from a variety of fields and contemporary art. This exhibition, the fifth in the series, welcomes Mansai Nomura as general advisor and will look at diverse physical expressions, ranging from the traditional to the contemporary, examining ways in which our physical memories can be integrated with modern creativity. It will present diverse expressions reconfigured to be reborn in a contemporary form. Live performance programs will also be featured.

入場料:一般1,200(960)円、大学生・専門学校生・65歳以上900(720)円、中学生600(480)円。小学生以下無料(保護者の同伴が必要)。 ()内は20名以上の団体料金。身体障害者手帳・愛の手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・被爆者健康手帳をお持ちの方、その付添者2名は無料。

会場:東京都現代美術館 企画展示室1階、地下2階

休館:月曜日(祝日の場合は翌日)、12月28日(日)～2015年1月1日(木)

主催:東京都、東京都現代美術館・東京文化発信プロジェクト室(公益財団法人東京都歴史文化財団)、産経新聞社

Admission: Adults: ¥1,200 / College students and seniors (65 and over): ¥900 / Junior high and high school students: ¥600

Closed: Mon (When Mon is a national holiday, closed on the following day), Dec 28 Sun-Jan 1 Thu, 2015

ミシェル・ゴンドリーの世界一周

9月27日(土)～2015年1月4日(日)

Around Michel Gondry's World
Sep 27 Sat – Jan 4 Sun, 2015

ミシェル・ゴンドリーは、独創的な長編映画やミュージック・ビデオの作り手として世界的に活躍する映画監督です。彼の作品の根底にあるのは、莫大な予算や特別な技術がなくてもアイデア次第で誰でも映像作家になれる、という信念。映像作家としての顔と、アマチュア映画愛好家としての顔を持ち合わせるゴンドリーの魅力に、「ホームムービー・ファクトリー」、「Around the World in 19 Videos」の2部構成で迫ります。

Michel Gondry is an acclaimed video artist / film director who is active worldwide for his inventive visual style and outstanding work in music videos.

His belief is that anyone can become a filmmaker as long as you have an idea without enormous amount of budget or special technology.

This exhibition will be staged in two parts to show the two faces of Michel Gondry: "Home Movie Factory," featuring the charms of Gondry the amateur film lover, and "Around the World in 19 Videos," featuring the international artist.

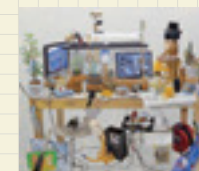


Photo: Herve Veronesi, 2011,
Paris, Courtesy: Home Movie
Factory Association

Mini Information

現代美術の名作から若手作家の作品まで

開館20周年記念 MOTコレクション特別企画「コンタクト」(9月27日～2015年1月4日)では、コレクションから世代や領域、手法などの異なる作家同士を組み合わせて展示します。



千葉正也(タートルズ・ライブ #3)
2013年



サンドロ・ボッティチェリ《パラスとケンタウロス》1480-85年 テンペラ、カンヴァス ウフィツィ美術館
Sandro Botticelli, *Pallas and the Centaur*, 1480-85, Tempera on canvas, Uffizi Gallery
FOTO: S.S.P.S.A.E. e per il Polo Museale della città di Firenze - Gabinetto Fotografico

ウフィツィ美術館展

—黄金のルネサンス ボッティチェリからブロンズイーノまで—

10月11日(土)～12月14日(日)

Arte a Firenze da Botticelli a Bronzino: verso una 'maniera moderna'

Oct 11 Sat - Dec 14 Sun

イタリア・ルネサンスの中心都市フィレンツェでは、15世紀以降、工房による組織的な制作活動が盛んになり、数多くの優れた芸術家が生まれました。名家メディチ家のコレクションを核に設立されたウフィツィ美術館は、ルネサンスを代表する作品を数多く所蔵しています。ボッティチェリ、アンドレア・デル・サルト、ポントルモ、ブロンズイーノら、主要な画家たちの作品約80点を通じて、豊かで多様なフィレンツェ・ルネサンスの真髄に迫ります。

In Florence, which was at the center of the Italian Renaissance, a number of talented artists debuted through systematic studio works during and after the 15th century. The Uffizi Gallery was established with the collection of the prestigious Medici, and it houses a great number of masterpieces representing the Renaissance. Through the works by some 80 important painters, such as Botticelli, Andrea del Sarto, Pontormo and Bronzino, this exhibition will focus on the spirit of rich variety of Florence's Renaissance.

入場料:一般1,600(1,300)円、学生1,300(1,100)円、高校生800(700)円、65歳以上1,000(900)円。()内は20名以上の団体料金。中学生以下無料。身体障害者手帳、愛の手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、被爆者健康手帳をお持ちの方と、その付添者1名は無料。いずれも証明できるものが必要。

会場:東京都美術館 企画展示室
休室:月曜日(ただし、10月13日、27日、11月3日、24日は開室)、11月4日(火)、25日(火)
主催:公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都美術館、TBS、朝日新聞社

Admission: Adults: ¥1,600 / College students: ¥1,300 / High school students: ¥800 / Seniors (65 and over): ¥1,000

Closed: Mon (Open on Oct 13 Mon, 27 Mon, Nov 3 Mon, 24 Mon), Nov 4 Tue, 25 Tue

第3回 都美セレクション グループ展

11月26日(水)～2015年1月10日(土)

Group Show of Contemporary Artists 2014

Nov 26 Wed - Jan 10 Sat, 2015

従来の発想にとらわれない新しい表現を追求する現代作家のグループ展。絵画、彫刻、書、工芸、写真、インスタレーションとジャンルも多様な6グループの展覧会を開催します。東京都美術館の展示空間だからこそ実現可能な個性あふれる表現をご覧ください。

Group Show of Contemporary Artists 2014 is an exhibition by groups that challenge new expressions, the likes of which can be only realized in this museum. Please enjoy the programs created by six selected groups in various genres of contemporary artists, including painting, sculpture, calligraphy, crafts, photography and installations.

入場料:無料

会場:東京都美術館 ギャラリーA、B、C

休室:第1・第3月曜日

主催:公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都美術館

Admission: Free

Closed: 1st and 3rd Mon

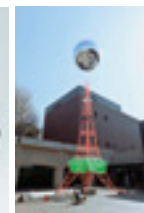
no	会期	展覧会名	
1	11月26日(水)～12月7日(日)	祭、炎上、沈黙、そして… POST 3.11	Mayhem, Friction, Silence, and then... POST 3.11
2	11月26日(水)～12月7日(日)	月火水木金土日 「いろに想う」	Monday through Sunday, "heart to the color"
3	12月5日(金)～20日(土)	Ezotic Caravan 一国の北から一	Ezotic Caravan -From the far north of Japan
4	12月9日(火)～20日(土)	私たちの窓から見える風景	what may be different to see through THE WINDOWS
5	12月9日(火)～20日(土)	実験 ことばを展開させてみる	Unfolding of the WORDS
6	2015年1月4日(日)～10日(土)	ナオナカムラと天才ハイスクール!!!!	TENSAI High School !!!! + nao nakamura



1



2



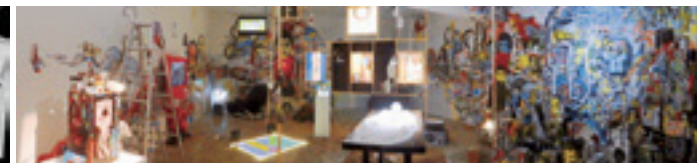
3



4



5



6

1. 安藤栄作《光のさなごたち》2013年 2. 前沢幸恵《～kiriko～シリーズ》2013年 3. 風間天心《stand. Ezotic ver.》2013年 4. 佐藤翔《Black Hole Down!》2012年 5. 小林智紀《Tシャツ》2014年 6. 天才ハイスクール!!!! YAMAMOTO GENDAI Future Feature Vol.6 天才ハイスクール!!!!「天才ハイスクール」(山本現代での展示風景) 2013年

Mini Information

日本で初めてのウフィツィ美術館展

ウフィツィ美術館所蔵のボッティチェリの代表作《パラスとケンタウロス》が34年ぶりに来日。ボッティチェリの初期のみずみずしい聖母子像や、個性的な表現の際立つ晩年の作品もあわせてご覧いただけます。



ウフィツィ美術館



東京文化会館の大ホールは11月30日まで、小ホールは12月11日まで休館
Closed: Main Hall will be closed through Nov 30. Recital Hall will be closed through Dec 11.

Music Weeks in TOKYO 2014 プラチナ・シリーズ

第1回 山下洋輔 ～クリスマス・ジャズ・ナイト～

12月25日(木) 小ホール

第2回 ハンスイェルク・シェレンベルガー & 堀米ゆず子 & 中野振一郎 他 ～バッハ・コントラスト～

2015年1月21日(水) 小ホール

Music Weeks in TOKYO 2014: Platinum Series: 1. Yosuke Yamashita: Christmas Jazz Night

Dec 25 Thu: Recital Hall

Music Weeks in TOKYO 2014: Platinum Series: 2. Hansjörg Schellenberger & Yuzuko Horigome & Shinichiro Nakano: Bach – Contrast

Jan 21 Wed, 2015: Recital Hall

東京発の音楽フェスティバル“Music Weeks in TOKYO”

「奇跡の音響」と称される小ホールで贅沢なひとときを。一流アーティストによる珠玉のコンサートです。

Music Weeks in Tokyo is a music festival that originated in Tokyo. Enjoy your time at the Recital Hall, known as the “miracle acoustic hall.” Not-to-miss concerts by outstanding artists will be featured.

第1回 12月25日

出演: 山下洋輔 (ピアノ)

曲目: 当日発表

第2回 2015年1月21日

出演: ハンスイェルク・シェレンベルガー (オーボエ)、堀米ゆず子 (ヴァイオリン)、中野振一郎 (チェンバロ)、山本徹 (チェロ)

曲目: J.S. バッハ/トリオ・ソナタ 長調 BWV1039、H. ホリガー/独奏

オーボエのためのソナタ (1956/1999)、J.S. バッハ/トリオ・ソナタ ニ短調 BWV1036、J.S. バッハ/トリオ・ソナタ 長調 BWV1037、三善晃/ヴァイオリンのための「鏡」(1981)、J.S. バッハ/「音楽の捧げもの」 BWV 1079 より トリオ・ソナタ

開演: 19:00

料金: (1回券) S席 5,000円、A席 4,000円、B席 2,500円

主催: 東京都、東京文化会館・東京文化発信プロジェクト室 (公益財団法人東京都歴史文化財団)

※未就学児の入場はご遠慮ください

Dec 25

Performer: Yosuke Yamashita (Piano)

Jan 21, 2015

Performer: Hansjörg Schellenberger (Oboe), Yuzuko Horigome (Violin), Shinichiro Nakano (Cembalo), Toru Yamamoto (Cello)

Admission: S seats: ¥5,000, A seats: ¥4,000, B seats: ¥2,500



山下洋輔
Yosuke Yamashita
Photo: Jimmy & Dena Katz



ハンスイェルク・シェレンベルガー
Hansjörg Schellenberger
Photo: Gerhard Winkler



堀米ゆず子
Yuzuko Horigome
Photo: T.Okura



中野振一郎
Shinichiro Nakano
Photo: 稲見伸介



山本徹
Toru Yamamoto
Photo: K. Miura

Mini Information

Music Weeks in TOKYO 2014 まちなかコンサート

「芸術の秋、音楽さんぽ」(9月25日(木)～11月2日(日))では、都内の文化施設で実力のある新進演奏家の演奏が、無料で楽しみいただけます(一部入館料等が必要)。詳細はウェブサイトをご覧ください。



昨年のコンサートより
(江戸東京たてもの園 子宝湯)

舞台芸術創造事業 日本舞踊×オーケストラVol.2

12月13日(土)・14日(日) 大ホール

The Japanese Classical Dance with Orchestra Vol.2

Dec 13 Sat, 14 Sun: Tokyo Bunka Kaikan Main Hall

衝撃の出会いが再び! オーケストラで舞う日本舞踊。花柳壽輔の演出による「日本舞踊とオーケストラ」の新たなコラボレーションにご期待ください。

Yet another sensational collaboration! Nihon Buyo dance performs with an orchestra. Please look forward to a new collaboration of “Nihon Buyo and orchestra,” produced by Jusuke Hanayagi.

開演: 13日 18:30、14日 15:00

構成・演出: 花柳壽輔 監修: 植田紳爾

出演: 園田隆一郎 (指揮)、東京フィルハーモニー交響楽団 ほか

演目: 葵の上 (源氏物語より)、ライラックガーデン、いざやかぶかん [出演: 轟悠 ほか]、パピヨン [出演: 花柳壽輔、麻実れい]、ボレロ [出演: 吉田都 ほか]

料金: S席 12,300円 A席 10,300円 B席 8,200円 C席 5,200円
D席 3,200円

主催: 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京文化会館

※未就学児の入場はご遠慮ください

Direction: Jusuke Hanayagi

Performer: Ryuichiro Sonoda (Conductor), Tokyo Philharmonic Orchestra, etc.

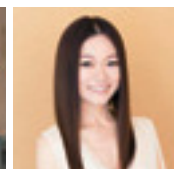
Admission: S seats: ¥12,300, A seats: ¥10,300, B seats: ¥8,200, C seats: ¥5,200, D seats: ¥3,200



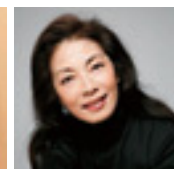
花柳壽輔
Jusuke Hanayagi



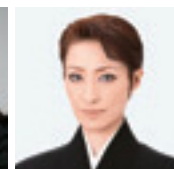
園田隆一郎
Ryuichiro Sonoda



吉田都
Miyako Yoshida
Photo: 政川慎治



麻実れい
Rei Asami



轟悠
Yu Todoroki
Photo: 宝塚歌劇団

《響の森》Vol.35「ニューイヤーコンサート2015」

2015年1月3日(土) 大ホール

Tokyo Bunka Kaikan New Year Concert 2015

Jan 3 Sat, 2015: Main Hall

2015年の「聴き初め」は東京文化会館で! 1月3日は恒例の「ニューイヤーコンサート」。東京文化会館音楽監督、小林研一郎の指揮で「炎のニューイヤーコンサート」をお楽しみください。

Music Director Kenichi Kobayashi, will appear on stage. Featuring Mayu Kishima, a young and powerful violinist.

開演: 15:00

出演: 小林研一郎 (指揮、東京文化会館音楽監督)、木嶋真優 (ヴァイオリン)、東京都交響楽団

曲目: J. シュトラウス2世/ワルツ「春の声」、モンティ/チャルダッシュ*、マスネ/タイスの瞑想曲*、サラサーテ/ツイゴイネルワイゼン*、ドヴォルザーク/交響曲第9番 水短調「新世界より」op.95

料金: S席 6,200円、A席 4,100円、B席 2,100円

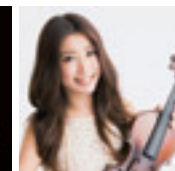
主催: 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京文化会館
※未就学児の入場はご遠慮ください

Performer: Kenichiro Kobayashi (Conductor, Music Director of Tokyo Bunka Kaikan), Mayu Kishima (Violin), Tokyo Metropolitan Symphony Orchestra

Admission: S seats: ¥6,200, A seats: ¥4,100, B seats: ¥2,100



小林研一郎
Kenichiro Kobayashi
Photo: 満田聡



木嶋真優
Mayu Kishima
Photo: 須藤敬一

東京芸術劇場

Tokyo Metropolitan Theatre

東京
芸術
劇場
Tokyo
Metropolitan
Theatre

東京芸術劇場×明洞芸術劇場 国際共同制作「半神」

10月24日(金)～31日(金) ※27日(月)は休演

Half Gods

Oct 24 Fri - 31 Fri ※Oct 27 Mon Day off

少女漫画界の大御所・萩尾望都の短編漫画をもとに、野田秀樹と萩尾とが共同で戯曲化し、高い評価と人気を得た「半神」が、15年ぶりに東京芸術劇場と明洞芸術劇場(韓国・ソウル)で上演されます。出演者はすべて韓国人俳優。そして日本からは野田作品に欠かせないデザイナー達が参加し、日韓の共同作業により新たなバージョンが生まれます。

"Half Gods," a masterpiece program that was dramatized by Hideki Noda in collaboration with Moto Hagio, the great master of the girls' comic, will be staged at the Tokyo Metropolitan Theatre and Myeongdong Theater (Seoul, South Korea) after a 15-year-long of absence. An all-Korean cast, with designers from Japan who are imperative for Noda's works, will come together to create a new version of collaborative work between South Korea and Japan.

原作・脚本：萩尾望都

脚本・演出：野田秀樹

出演：チュ・イニョン、チョン・ソンミン、オ・ヨン、イ・ヒョンファン、イ・ジュヨン、バク・ユニ、イ・スミ、ヤン・ドンタク、キム・ジョンホ、キム・ビョン Chol、ソ・ジュヒ、チョン・ホンソプ

料金：全席指定 S席5,000円、A席4,000円、ペアチケット8,500円(S席/2枚)、高校生割引1,000円、25歳以下(A席)2,000円、65歳以上(S席)4,500円

会場：東京芸術劇場 プレイハウス

主催：東京都、東京芸術劇場・東京文化発信プロジェクト室(公益財団法人東京都歴史文化財団)

共催：明洞芸術劇場、独立行政法人国際交流基金

※未就学児の入場はご遠慮ください(以下、「ポリグラフ」と共通)

※高校生割引、25歳以下、65歳以上、およびペアは東京芸術劇場ボックスオフィスにて前売のみ取扱い(枚数限定、ペア以外は要証明書)

※障害をお持ちの方は割引料金でご観覧いただけます(詳細はお問い合わせください)

Based on the original comic by Moto Hagio

Written by Hideki Noda and Moto Hagio

Directed by Hideki Noda

Cast: In-Young JOO, Sung-Min JUN, Yong OH, Hyong-Hun LEE, Ju-Young LEE, Yun-Hee PARK, Soo-Mi LEE, Dong-Tak YANG, Jeong-Ho KIM, Byeong-Cheol KIM, Joo-Hee SEO, Hong-Sub CHUNG

Admission: all seats reserved S seats: ¥5,000, A seats: ¥4,000, A pair ticket: ¥8,500 (admit two / S seats), High school students: ¥1,000, 25 and under (A seats): ¥2,000, Over 65 age (S seats): ¥4,500



Art Direction:
吉田ユニ

世界のマエストロシリーズvol.2

ラドミル・エリシュカ&読売日本交響楽団

10月30日(木)

Radomil Eliška & Yomiuri Nippon Symphony Orchestra

Oct 30 Thu

愛する祖国、チェコの音楽の神髄に迫り、その魅力を伝え続ける巨匠ラドミル・エリシュカ。これまで札幌・N響・大フィルなど、数々の名演を繰り広げ、いよいよ読響との公演が実現します。

Radomil Eliška, a grand maestro, has been conveying the charm of music from his beloved home country of the Czech Republic. So far, he has held great performances with the Sapporo Symphony Orchestra, NHK Symphony Orchestra and Osaka Philharmonic Orchestra. This time, he will perform with the Yomiuri Nippon Symphony Orchestra, Tokyo.

開演：19:00 出演：ラドミル・エリシュカ(指揮)、河村尚子(ピアノ)、読売日本交響楽団

曲目：スメタナ/歌劇「売られた花嫁」序曲、モーツァルト/ピアノ協奏曲第21番 ハ長調 K.467、ドヴォルザーク/交響曲第9番 ホ短調 Op.95「新世界より」

料金：全席指定 S席6,000円、A席5,000円、B席4,000円、C席3,000円、D席2,000円 会場：東京芸術劇場 コンサートホール

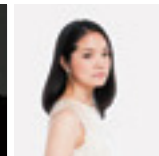
主催：公益財団法人東京都歴史文化財団 東京芸術劇場、豊島区
助成：平成26年度文化庁地域発・文化芸術創造発信イニシアチブ
※やむをえぬ理由により、曲目等変更の可能性がございます。予めご了承ください
※未就学児の入場はご遠慮ください

Performer: Radomil Eliška (Conductor), Hisako Kawamura (Piano), Yomiuri Nippon Symphony Orchestra, Tokyo

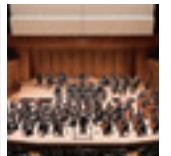
Admission: all seats reserved S seats: ¥6,000, A seats: ¥5,000, B seats: ¥4,000, C seats: ¥3,000, D seats: ¥2,000



ラドミル・エリシュカ
Radomil Eliška
Photo: 佐藤雅英



河村尚子
Hisako Kawamura
Photo: Hirofumi Isaka



読売日本交響楽団
Yomiuri Nippon Symphony
Orchestra, Tokyo
Photo: Hikaru☆

「ポリグラフー嘘発見器ー」

10月19日(日)～11月2日(日) ※10月20日(月)・27日(月)は休演

LE POLYGRAPHE

Oct 19 Sun - Nov 2 Sun ※Oct 20 Mon, 27 Mon Day off

ルパージュ初期代表作が2012年、吹越満により新演出で上演され、視覚的に強いインパクトのある斬新な舞台が高い評判を得ました。今秋、パリ公演を皮切りに待望の再演。

In 2012, Mitsuru Fukikoshi directed a version of Robert Lepage's representative piece from early in his career, which was highly acclaimed due to its strong visual impact and innovative stage work. This much-awaited program will return to the stage this autumn, beginning in Paris, France.

構想・脚本：マリー・ブラッサール/ロベール・ルパージュ

翻訳：松岡和子 演出：吹越満

出演：森山開次、太田緑ロランス、吹越満

料金：全席指定 前売5,000円(当日5,500円)、ペア割9,000円、高校生割引1,000円、25歳以下3,500円、65歳以上4,500円

会場：東京芸術劇場 シアターイースト

主催：東京都、東京芸術劇場・東京文化発信プロジェクト室(公益財

団法人東京都歴史文化財団)

助成：平成26年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業

平成26年度(第69回)文化庁芸術祭参加公演

Text, Concept: Marie Brassard / Robert Lepage

Japanese text translation: Kazuko Matsuoka

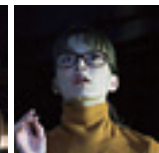
Direction: Mitsuru Fukikoshi

Performer: Kaiji Moriyama, Midori Laurence Ota, Mitsuru Fukikoshi

Admission: all seats reserved / advance ticket: ¥5,000 on the day ¥5,500, A pair ticket: ¥9,000 (admit two), High school students: ¥1,000, 25 and under: ¥3,500, 65 and over: ¥4,500



森山開次



太田緑ロランス



吹越満

Photo: Nobuhiko Hikiji (3点とも、初演時より)

Mini Information

ワークショップ「古楽ラボ」第2弾!

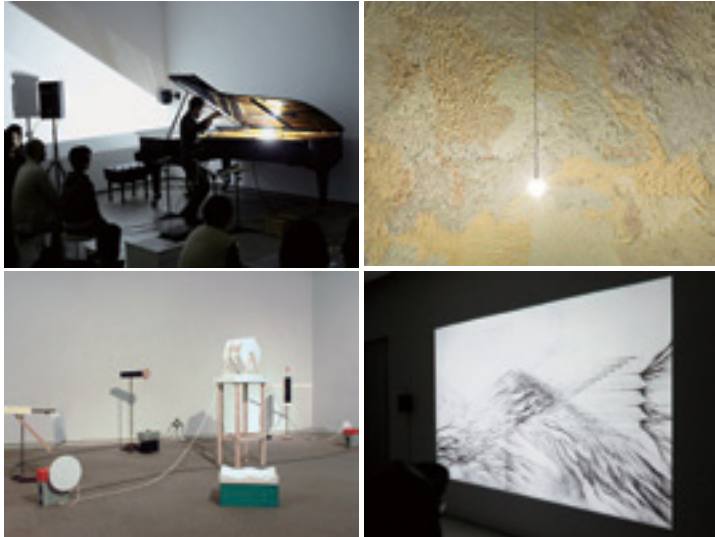
「古楽ラボ vol.2～現代の楽器を使って古楽にチャレンジ!～」(2015年1月～2月/全5回)。クラシカル・プレイヤーズ東京のメンバーが指導を行い、楽曲を実際に演奏することで体験的に古楽をひも解きます。



「古楽ラボ vol.1」より

トーキョーワンダーサイト

Tokyo Wonder Site



左上より時計回り:
ウーゴ・モラレス・ムルグイア&ディエゴ・エスピノーザ(パフォーマンス)、山崎阿弥(サウンド・インスタレーション)
Photo: 山本 紘、タナツ・モダバー&ピエール・ムルレ(パフォーマンス)、小林 椋(サウンド・インスタレーション)
Clockwise from upper left:
Hugo Morales Murguía & Diego Espinosa (Performance), Ami Yamazaki (Sound Installation) Photo: Tadasu Yamamoto, Tanaz Modabber & Pierre Mouries (Performance) and Muku Kobayashi (Sound Installation)

トーキョー・エクスペリメンタル・フェスティバル Vol.9

10月31日(金)~2015年1月18日(日)

TOKYO EXPERIMENTAL FESTIVAL – SOUND, ART & PERFORMANCE Vol.9

Oct 31 Fri – Jan 18 Sun, 2015

音楽やサウンドをテーマとした実験的な公演・展示を一挙に紹介するフェスティバル。パフォーマンスとサウンド・インスタレーションを軸に、約2ヶ月にわたって開催し、新しい表現の可能性を追求するアーティストたちによる、多彩な音の世界が繰り広げられます。

パフォーマンス(両国門天ホール): 10月31日(金)~11月16日(日)、参加アーティスト: 鈴木ユキオ×山川冬樹、武田カ、ワラビモチ愛好会、淡座、タナツ・モダバー&ピエール・ムルレ、宇都縁、ウーゴ・モラレス・ムルグイア&ディエゴ・エスピノーザ、デルフィーヌ・デプレ、iFloat(ライ・チャーシャ+リャオ・ハイティン)、久保智美/サウンド・インスタレーション(TWS本郷): 12月6日(土)~2015年1月18日(日)、参加アーティスト: 山崎阿弥、大和田俊、小林 椋

TOKYO EXPERIMENTAL FESTIVAL is a festival which introduces experimental performances and exhibitions focusing on music and sound. Over a period of two months, this year's festival will offer a unique agenda of full of TEF style performances, and sound installations.

Performance (Ryogoku Monten Hall): Oct 31 Fri – Nov 16 Sun, Artist: Yukio Suzuki x Fuyuki Yamakawa, Riki Takeda, Warabimochi Lover's Club PHIRIP, Awai-Za, Tanaz Modabber & Pierre Mouries, Yukari Uto, Hugo Morales Murguía + Diego Espinosa, Delphine Depres, iFloat (LAI Chi-Hsia + LIAO Hai-Ting), Tomomi Kubo/ Sound Installation (TWS Hongo): Dec 6 Sat– Jan 18 Sun, 2015, Artist: Ami Yamazaki, Shun Owada, Muku Kobayashi

入場料: パフォーマンス: 有料 ※プログラムにより異なります。詳細はウェブサイトをご覧ください/サウンド・インスタレーション: 無料
会場: トーキョーワンダーサイト本郷、両国門天ホール

休館: トーキョーワンダーサイト本郷: 月曜日(祝日の場合は翌日)、12月29日(月)~2015年1月5日(月)

主催: 公益財団法人東京都歴史文化財団 トーキョーワンダーサイト

Admission: Performance: Subject to fees (depends on each program), Sound Installation: Free

Venue: Tokyo Wonder Site Hongo, Ryogoku Monten Hall

Closed: Tokyo Wonder Site Hongo: Mon (When Mon is a national holiday, closed on the following day), Dec 29 Mon–Jan 5 Mon, 2015

未知なる日常 第2期

10月11日(土)~11月30日(日)

Unseen Daily Life Part 2

Oct 11 Sat – Nov 30 Sun

未だ見知らぬ日常や異国の都市の空気に触れる展覧会。身近にある素材を用いて制作する3組のクリエイターが、自国を離れ海外(メルボルン・ベルリン・東京)での滞在制作を経て展開された作品を、インスタレーションで展示します。

参加アーティスト: 三田村光土里、魚住哲宏+魚住紀代美、ルイス・ウルクロ(スペイン)

■ギャラリートーク、オープニング・レセプション: 10月11日(土) 16:00~17:00 / 会場: TWS本郷 / 予約不要、日英通訳あり

■マテリアル・ワークショップ(ルイス・ウルクロ): 10月18日(土) 14:00~17:00 / 会場: TWSレジデンス / 要予約

■サウンド・ワークショップ(魚住哲宏+魚住紀代美): 11月1日(土) 14:00~17:00 / 会場: TWS本郷 / 要予約

■Art & Breakfast (三田村光土里): 11月15日(土) 10:00~12:00 / 会場: TWS本郷 / 要予約

This exhibition intends to bring visitors into unseen aspects of daily life and foreign cityscapes. Three creator who routinely use items closely linked to their everyday lives will exhibit new installation works that they developed or influenced after they had experienced life in Melbourne, Berlin or Tokyo.

Artists: Midori Mitamura, Tetsuhiro + Kiyomi Uozumi, Luis Urculo

■ Gallery Talk, Opening Reception: Oct 11 (Sat.) 16:00-, 17:00-19:00/ Venue: TWS Hongo / No reservation necessary / with English-Japanese interpretation

■ Material Workshop (Luis Urculo): Oct 18 (Sat.) 14:00-17:00/ Venue: TWS Residency / Prior reservation essential

■ Sound Workshop (Tetsuhiro + Kiyomi Uozumi): Nov 1 (Sat.) 14:00-17:00/ Venue: TWS Hongo / Prior reservation essential

■ Art & Breakfast (Midori Mitamura): Nov 15 (Sat.) 10:00-12:00/ Venue: TWS Hongo / Prior reservation essential



1



2

1. 三田村光土里 〈Art & Breakfast—今が知るべきなの、その重さを—〉2011年(参考画像)
Midori Mitamura, Art & Breakfast - Now is the time to know its heaviness., 2011 (Reference image)

2. ルイス・ウルクロ 〈カバーズ〜落水荘〜〉2011年(参考画像)
Luis Urculo, Covers - Falling Water House -, 2011 (Reference image)

Mini Information

中川賢一×J. ケージ「ソナタとインターリュード」

トーキョー・エクスペリメンタル・フェスティバル Vol.9 最終日(2015年1月18日(日))に東京芸術劇場にてワークショップ付きコンサートを開催。弦にねじやゴムなどを挟み込んだプリバード・ピアノと、通常のピアノを聴き比べます。



中川賢一
© Shuhei NEZU

東京文化発信プロジェクト

Tokyo Culture Creation Project



東京文化発信プロジェクトは、「世界的な文化創造都市・東京」の実現に向けて、芸術文化団体やアートNPO等と協力して都内各地で多様な事業を実施しています。

Tokyo Culture Creation Project, in cooperation with arts organizations and NPOs, undertakes a variety of programs to establish Tokyo as a city of global cultural creativity.

東京クリエイティブ・ウィークス 2014

9月27日(土)～11月16日(日)

TOKYO CREATIVE WEEKS 2014

Sep 27 Sat – Nov 16 Sun

東京クリエイティブ・ウィークスでは「世界的な文化創造都市・東京」の実現に向けて、文化のハイシーズンである秋に事業を集中的に実施します。伝統文化から現代アートまで、ミュージアムやシアター、ホールから、まちなかの小さなコミュニティスペースまで、さまざまな形のプログラムを、いたるところで開催します。また、都内各所の催しも連携し東京の秋を盛り上げていきます。

Tokyo Creative Weeks is carried out in autumn—the high season for cultural activities in Japan—with the aim of establishing Tokyo as a city of global cultural creativity. The event features a wide range of programs, from traditional culture to contemporary art, held in a variety of venues throughout Tokyo including museums, theaters, concert halls and small community spaces. While coordinating with other festivals taking place in Tokyo, Tokyo Creative Weeks brings some additional sparkle to Tokyo's festival season.



1964年東京オリンピック・パラリンピック50周年記念 東京大茶会 2014

Commemorating the 50th Anniversary of the Tokyo 1964 Olympic and Paralympic Games
Tokyo Grand Tea Ceremony 2014

茶道に馴染みのない方や海外の方々にお茶の文化とそれを育ててきた江戸・東京の文化を紹介することを目的として、大規模な茶会を開催します。風情あふれる江戸東京たても園と浜離宮恩賜庭園にて、茶席や野点などをお楽しみください。

Large-scale tea ceremonies will be held with the purpose of introducing tea culture and Edo-Tokyo culture for those unfamiliar with the tea ceremony. Please enjoy outdoor and indoor tea ceremonies to be featured at the Edo-Tokyo Open Air Architectural Museum and Hama-rikyu Gardens.

日時・会場：9月27日(土)、28日(日)：江戸東京たても園(東京大茶会開催中入園無料) 10:00～17:00(受付 16:10まで) 10月11日(土)、12日(日)：浜離宮恩賜庭園 9:30～16:10(受付 15:30まで)
主催：東京都、東京文化発信プロジェクト室(公益財団法人東京都歴史文化財団)、東京発・伝統WA感動実行委員会
参加料：茶席 700円、野点 300円、茶道はじめて体験 300円など

※茶席のみ事前申込。ただし、空きがある場合は当日受付可

Venue: Sep 27 Sat, 28 Sun: Edo-Tokyo Open Air Architectural Museum
Oct 11 Sat, 12 Sun: Hama-rikyu Gardens
Admission: Chaseki; Indoor Tea Ceremony: ¥700, Nodate; Outdoor Tea Ceremony: ¥300, Tea Ceremony for Beginners: ¥300, etc.



東京大茶会2013の様子(浜離宮恩賜庭園会場)
Tokyo Grand Tea Ceremony 2013

アートアクセスあだち 音まち千住の縁 野村誠 千住だじゃれ音楽祭「千住の1010人」

Art Access Adachi: Downtown Senju-Connecting through Sound Art
Senju Pun-filled Music Festival "1010 People in Senju"

2011年よりコンサートやワークショップを通して、だじゃれと音楽の関係を追求し続けてきた作曲家・野村誠が企画する「千住だじゃれ音楽祭」。今年度は、発足当初からの夢であった「千住の1010人」の演奏者による演奏会を、満を持して開催。タイやインドネシアの作曲家を招聘し、創作楽器や各国の伝統楽器を用いつつ演奏します。

"Senju Pun-filled Music Festival" is produced by Makoto Nomura, a composer who has been examining the relationship between puns and music through holding concerts and workshops since 2011. This year, "1010 People in Senju," a dream of his since

he formed the festival, will be held. By inviting composers from Thailand and Indonesia, various types of music will be performed.

日時:10月12日(日)15:00～17:00(12:00開場)

会場:東京都中央卸売市場 足立市場

主催:東京都、東京文化発信プロジェクト室(公益財団法人東京都歴史文化財団)、東京藝術大学音楽学部、特定非営利法人音まち計画、足立区
※詳しくは公式ウェブサイト(aaa-senju.com)をご覧ください



野村誠 千住だじゃれ音楽祭
国際交流企画第2弾:タイ編
レクチャー&コンサート「タイの
アナンを藝大に歓迎タイ」
(2014年3月16日)
Photo: 雨宮透貴

東京・ベルリン友好都市提携20周年記念 文化のカ・東京会議2014 「文化創造都市とフェスティバル」

20th anniversary of the Tokyo – Berlin city partnership in 2014

Culture and Social Innovation: Tokyo Conference 2014, "Cities of Cultural Creativity and Festivals"

東京の文化の国際発信と国際ネットワークの構築を目指す国際会議。今回は東京・ベルリン友好都市提携20周年を記念し、ベルリン、ロンドン、ソウル、日本の各都市から専門家を迎え、都市におけるフェスティバルの意義を議論し、都市の魅力の向上やその施策を考えます。5か国の若手文化芸術関係者を招き、視察や交流を行う国際招聘プログラムも実施します。

The Tokyo Conference aims at establishing international networks and disseminating Tokyo's culture abroad. This year, commemorating the 20th anniversary of the Tokyo – Berlin city partnership, professionals will be invited from Berlin, London, Seoul and several cities in Japan to discuss the meaning of

festivals in cities and how to make cities fascinating. International visitors program invites young cultural professionals further from five countries for site research and exchange.

日時:11月7日(金)16:00～19:45

会場:都庁都民ホール

主催:東京都、東京文化発信プロジェクト室(公益財団法人東京都歴史文化財団)

申込方法:FAXまたはウェブサイト

※詳しくは公式ウェブサイト(tokyo-conference.jp)をご覧ください



文化のカ・東京会議2013の様子

Mini Information

狂言の人間国宝三家が顔をそろえる!

東京発・伝統WA感動「至高の芸、そして継承者～狂言」(10月28日(火)・国立劇場)は、野村万作、山本東次郎、野村萬(出演順)ら三人の人間国宝とその至高の芸を継承する狂言師が極めつけの得意演目を披露します。



左:野村万作
中央:山本東次郎
右:野村萬



改修工事にもなう休館について (休館期間)～2016年8月末(予定)

Temporarily closed for renovations. Will close until late August of 2016

東京都写真美術館は2014年9月24日より、大規模改修工事のため休館しています。1995年1月の総合開館以来、約20年間にわたり写真と映像専門の総合美術館として日本におけるセンター的役割を担ってまいりました。この度の改修工事、経年劣化に伴う設備機器の更新などを行い、公共施設としてより安心で快適な美術館へと生まれ変わります。休館中の情報は、ウェブサイトや公式ツイッターで随時お知らせします。

Tokyo Metropolitan Museum of Photography has been closed due to a renovation of its entire building since September 24, 2014. For about 20 years since it was inaugurated in January 1995, the museum had functioned as an integrated museum specializing in photography and film. Through the renovation, new equipment will be introduced and the space will be re-born as an even more comfortable public museum. During this closure period, a variety of information will be transmitted through our website and official twitter account from time to time.



東口外観

Information

第7回恵比寿映像祭 美術館から飛び出すフェスティバル

アートと映像の国際フェスティバル「第7回恵比寿映像祭」は、展示、上映ライブ・パフォーマンス、シンポジウム、レクチャーなどを複合的に展開することで、映像分野における創造活動の活性化を目指します。第7回を迎える今回は、東京都写真美術館の休館に伴い、恵比寿ガーデンプレイスを中心に周辺の複数の会場で開催します。テーマやプログラムは10月下旬頃発表。詳細はウェブサイトをご覧ください。

会期:2015年2月27日(金)～3月8日(日)

開館:10:00-20:00(予定)

会場:ザ・ガーデンホール、ザ・ガーデンルーム、日仏会館ホール・ギャラリー、恵比寿ガーデンプレイスセンター・広場、地域連携各所 ほか



1. 第6回恵比寿映像祭 トゥルー・カラース
ニナ・フィッシャー&マロアン・エル・ザニ(上映出品作家)ラウンジトークより

2. カミュー・アンロ(偉大なる疲労)2013

第6回恵比寿映像祭 トゥルー・カラース 展示より
2点とも© Tokyo Metropolitan Museum of Photography Photo: 新井孝明

公益財団法人 東京都歴史文化財団

Tokyo Metropolitan Foundation for History and Culture



<http://www.rekibun.or.jp>
(公益財団法人 東京都歴史文化財団)
<http://tokyoartnavi.jp>
(トーキョー・アート・ナビゲーション)

東京都歴史文化財団と『美術手帖』の連動企画 「第4回トーキョー・アート・ナビゲーション・コンペティション」 11月下旬最終審査結果発表(予定)

A collaborative project of the Tokyo Metropolitan Foundation for History and Culture and BIJUTSUTECHO "The 4th Tokyo Art Navigation Competition" Screening results to be announced late November (tentative)

東京都歴史文化財団が運営するウェブサイト「トーキョー・アート・ナビゲーション」では、アーティスト支援を目的に『美術手帖』と連携して、2011年よりコンペティションを開催。これまでに、平面、立体、映像ほか、多様なジャンルの中から新進作家を発掘してきました。第4回の最終審査結果は、11月下旬に発表を予定しています。詳細は、特設サイトをご覧ください。

トーキョー・アート・ナビゲーション・コンペティション特設サイト

<http://www.bijutsu.co.jp/bss/tan/>

Tokyo Art Navigation, operated by the Tokyo Metropolitan Foundation for History and Culture, along with BIJUTSUTECHO monthly art magazine, have held competitions since 2011 with the aim of supporting and discovering new artists. The result of the 4th competition will be announced late November. Please see the details at the website.



改修工事にもなう休室・休館のお知らせ

Announcement of closure of museums and exhibition rooms due to renovation.

東京都江戸東京博物館・東京都写真美術館では右記の期間、改修工事のため休室・休館を予定しています。詳細はウェブサイトをご覧ください。

Tokyo Metropolitan Edo-Tokyo Museum and Tokyo Metropolitan Museum of Photography are scheduled to close for the following periods due to renovation. Please refer to facilities' websites for further details.

東京都江戸東京博物館

Tokyo Metropolitan Edo-Tokyo Museum

常設展示室の休室

2014年12月1日(月)～

2015年3月27日(金)

全館休館

2015年3月9日(月)～3月27日(金)

Permanent Exhibition Gallery

Closed: Dec 1 (Mon), 2014-Mar 27 (Fri), 2015

Closed entire building

Mar 9 (Mon)-Mar 27 (Fri), 2015

東京都写真美術館

Tokyo Metropolitan Museum of Photography

全館休館

2014年9月24日(水)～

2016年8月末(予定)

Closed entire building

Sep 24 (Wed)-Aug 2016 (scheduled)

お正月開館のお知らせ

Special Open Days for New Year Holiday Period

お正月期間中、東京都現代美術館では開館を予定しています。各種イベントも開催いたしますので、詳細はウェブサイトをご覧ください。

Museum of Contemporary Art Tokyo is scheduled to open during the New Year holiday period.

Please refer to each facility's website for further details. Various events will be featured.

東京都現代美術館

Museum of Contemporary Art Tokyo

開館日:2015年1月2日(金)、3日(土)

開館時間:10:00-18:00(ただし、美術図書室は休室)

※2日(金)・3日(土)は常設展観覧無料、企画展観覧料は通常通り。

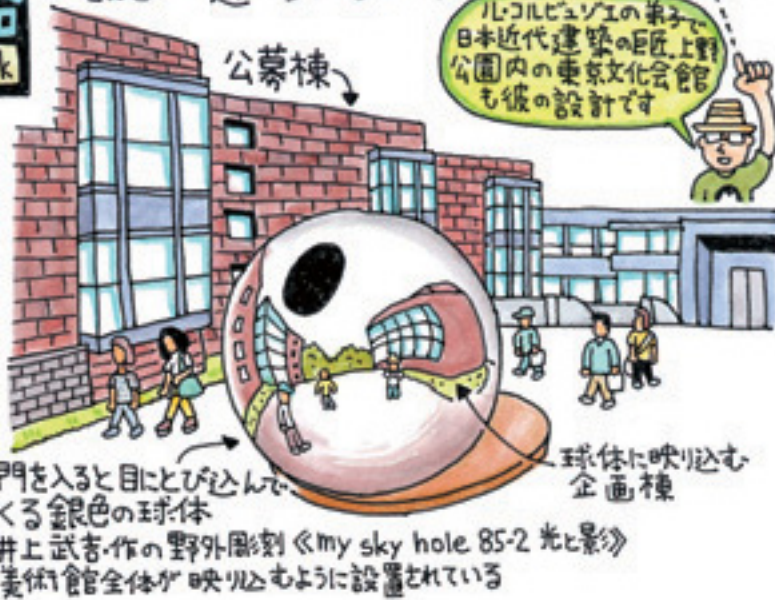
Open: Jan 2 (Fri) and 3 (Sat), 2015

Hours: 10:00-18:00 (Art library will be closed.)

*Jan 2 and 3: admission free for Collection Gallery.

東京都美術館

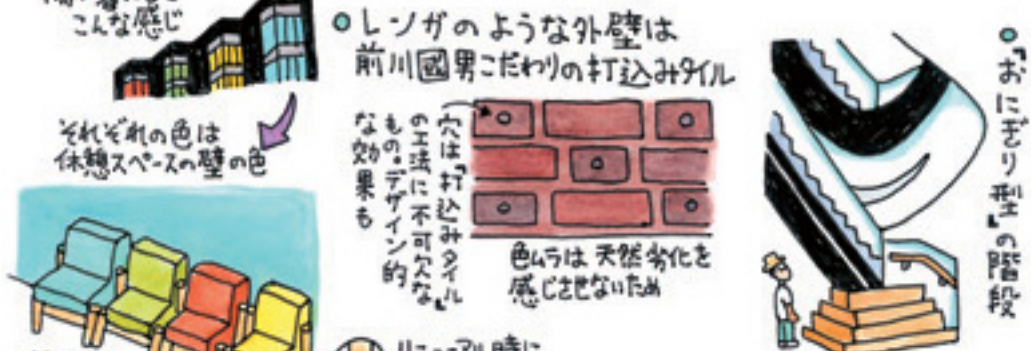
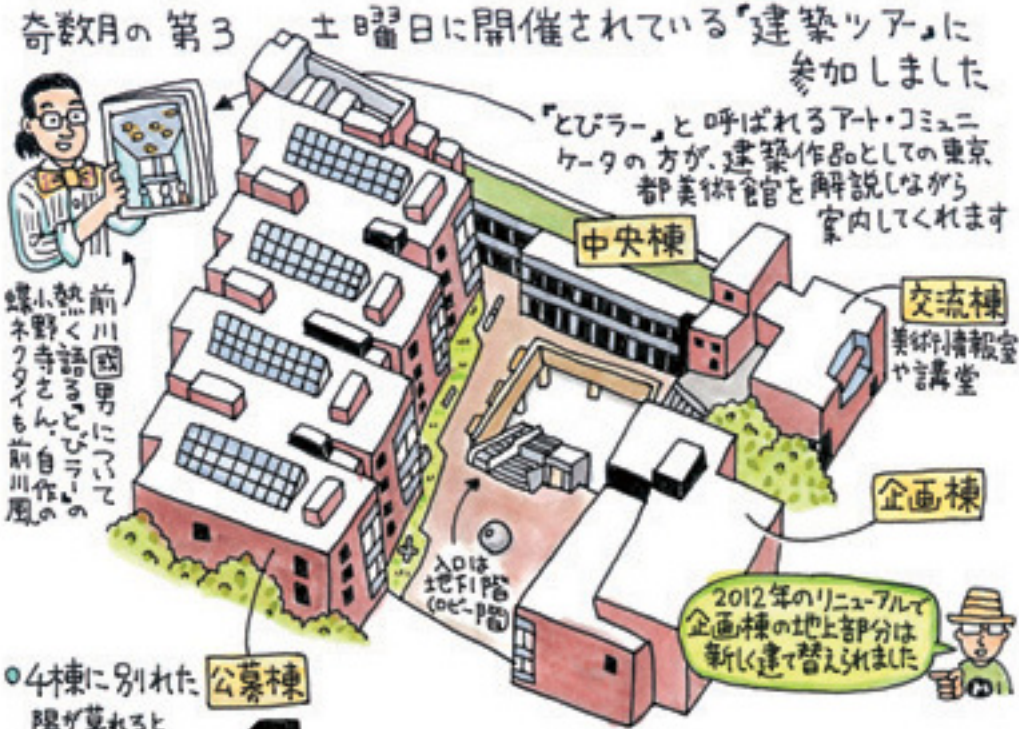
現在の東京都美術館は1975年、前川國男の設計で建てられました。



日本初の公開型美術図書室
美術情報室
美術書図録、美術雑誌などが閲覧できます



溝口イタル Illustration & Text by Itaru Mizoguchi



東京都美術館 Tokyo Metropolitan Art Museum

トキョー・キャラクターズ
Tokyo Characters

写真 / 川瀬一絵
Photographs by Kazue Kawase

Hunt 2

上野のパンダ編

Panda Bears in Ueno



A ジャイアントパンダ像

JR 上野駅の入谷改札を出てすぐ右手に、ジャイアントパンダ像が。駅の隅で日陰に隠れ、透明な「檻」の中にあるそのパンダは一見寂しそうに見えるけれど、わざわざ会いに来る人や通りすがりに挨拶をして行く子供たちが訪れるたび、ぽっと温かな空気が流れる。上野駅にはもう1頭、構内の大連絡橋通路にも小パンダが(ひっそりと)生息中。

Giant Panda Statue

The giant panda statue stands to the right immediately after the Iriya ticket gate at JR Ueno Station. The panda, which is in a transparent "cage" and hiding in a shady area in a corner of the station, looks lonely at first glance. However, a warm atmosphere is generated every time someone comes all the way from his/her home to see the panda or when children come say hello to the panda as they pass by.

おいしいパンダ、さびしいパンダ

Tasty panda and lonely panda



B 上野動物園のパンダ小窓

上野動物園の「隠れパンダ」。パンダ舎に入っすぐ、リリーとシンシンのいる部屋へと向かう通路の壁に、さりげなくあしらわれたパンダ型の小窓がある。ちなみに、上野に初めてのパンダが来たのは1972年。カンカンとランランは大ブームとなり、以来「パンダは上野」のイメージが定着した。

Small Panda-shaped Window in Ueno Zoological Gardens

"Hiding Panda" at the Ueno Zoological Gardens. Immediately after entering the panda house, there is a small panda-shaped window, which has been decorated, in a subtle manner, on the wall of the passage leading to Ri Ri and Shin Shin's room.



C 親子パンダ像

大勢の人々が行き交う台東区役所の1階ロビーには、母パンダと子パンダの親子パンダ像がある。ほかにも、迫力満点の壁面緑化パンダや窓口のパンダぬいぐるみ、食堂のパンダカレーなど、台東区役所にはいろいろなパンダが隠れている。

Parent-Child Panda Statue

Statues of a mother and child panda sit on the ground floor lobby of the Taito City Office where many people come and go. In addition to this, various kinds of pandas, such as a compelling green wall panda, stuffed panda bear at a service window, and panda-themed curry at the restaurant, are all hiding within the Taito City Office.



川瀬 一絵 Kazue Kawase

1981年島根県生まれ。島根大学教育学部、東京総合写真専門学校卒業。池田晶紀主宰「ゆかい」所属。雑誌「美術手帖」などで撮影を手がけるほか、個展の開催やグループ展への参加など広く活動を展開。渋谷PARCOの「シブカル祭。」にも2年連続で参加した。<http://yukaistudio.com>

Born in Shimane Prefecture in 1981. Kawase graduated from the Faculty of Education, Shimane University, and the Tokyo College of Photography. She is a member of the photography office "Yukai" presided by Masanori Ikeda.



[今月の撮影スポット]

- A ジャイアントパンダ像／JR上野駅構内
- B 上野動物園のパンダ小窓／台東区上野公園 9-83
- C 親子パンダ像／台東区東上野 4-5-6

アンデルセンアトレ上野店の「パンダ食パン」。JR上野駅中央改札を出てすぐ「Panda bread」



名物のパンダ焼き。上野動物園入口付近の売店で販売
Popular Panda-yaki (panda-shaped cakes)

Information

図書資料室のご案内

Reference room

東京都江戸東京博物館 図書室・映像ライブラリー

Tokyo Metropolitan Edo-Tokyo Museum Library, Audio-visual Library

図書室では、江戸東京の歴史や文化に関する約20万点の図書や雑誌、マイクロフィルムを所蔵。また、東京都内の区市町村史や文化財に関する図書も揃えています。同じフロアにある映像ライブラリーでは、館で制作した映像作品を中心に、約500タイトルの作品を専用端末でご覧いただけます。中には外国語による博物館のガイドや日本文化を紹介するものもあります。

The library houses some 200,000 books, magazines and microfilms about the history and culture of Edo-Tokyo. Also, publications about the history of Tokyo's cities, districts, towns and cultural properties are available. At the audio visual library, which is located on the same floor, visitors can view about 500 titles, mostly created by this museum, using the library's dedicated terminals. Among the titles are museum guides, and Japanese culture introduced in languages other than Japanese.

東京都現代美術館 美術図書室

Museum of Contemporary Art Tokyo Art Library

近現代の美術に関する図書資料を主として所蔵している専門図書室です。現在、蔵書は美術関連図書が約5万1000冊、展覧会カタログは約6万5000冊を数え、どなたでも無料で図書室内にて閲覧いただけます。また、開催中の展覧会に関連した図書・カタログを特集して展示しています。お気軽にお立ち寄りください。

The library that specializes in art houses publications on modern and contemporary arts. Currently, the library contains about 51,000 volumes of books on the arts and about 65,000 volumes of exhibition catalogues. It is open to public, and anyone can view the library's materials free of charge.

The library features exhibition catalogues and publications related to the exhibition, which is being held in the museum. Please feel free to visit us.

料金：無料
場所：7階
時間：9:30-17:30
休室：博物館の休館日（ただし整理調整の臨時休室あり）
館外貸出は不可
Admission: Free
Location: 7F
Open: 9:30-17:30
Closed: on the museum's regular closing days (However, there are extra closure dates for maintenance.)



料金：無料
場所：地下1階
時間：10:00-18:00
休室：月曜日（祝日の場合は翌日）
館外貸出は不可
Admission: Free
Location: B1F
Open: 10:00-18:00
Closed: on the museum's closing dates.



Maps & Information

● 公益財団法人東京都歴史文化財団

Tokyo Metropolitan Foundation for History and Culture
<http://www.rekibun.or.jp>

● トーキョー・アート・ナビゲーション

Tokyo Art Navigation
<http://tokyoartnavi.jp>

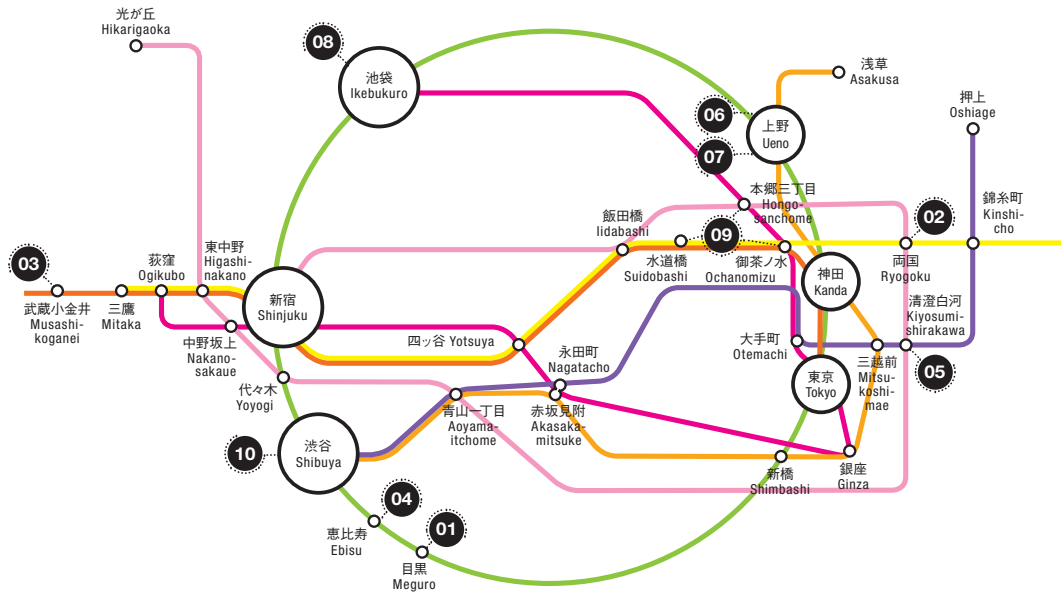
● 観覧料について(対象:東京都江戸東京博物館・江戸東京たてもの園・東京都現代美術館の常設展、東京都写真美術館の収蔵展)

- ・都内在住・在学の中学生、小学生以下は無料
- ・65歳以上の方は、一般料金の半額、毎月第3水曜日は無料
- ・毎月第3土曜日・日曜日(家族ふれあいの日)は、18歳未満のお子さまを同伴する都内在住の方は半額
- ・観覧料の記載がない場合は、展覧会・催物によって金額が異なります
- Admission Fee (Permanent Exhibition of Tokyo Metropolitan Edo-Tokyo Museum, Edo-Tokyo Open Air Architectural Museum, Permanent Exhibition of Museum of Contemporary Art Tokyo, and Collection Exhibition of Tokyo Metropolitan Museum of Photography)
- ・Admission Free : Elementary and junior high school students reside or go to school in Tokyo.
- ・Half Price : Seniors (65 and over)
- ・Seniors (65 and over) are admitted for free on the third Wed of every month.
- ・Adult residents of Tokyo accompanying children under 18 years old are admitted for half price on the third weekend of every month.
- ・Fees may vary depending on the exhibitions and events. So, please confirm if fees are not indicated.

● 休館日は各館異なります。詳細はカレンダーページをご確認ください

Closed day may vary by facility. Please check the calendar pages for further details.

主な路線図 Route map



- | | | | |
|--------|-----------------------|-----------|-----------------------------|
| JR山手線 | JR Yamanote Line | 東京メトロ半蔵門線 | Tokyo Metro Hanzomon Line |
| JR中央線 | JR Chuo Line | 東京メトロ銀座線 | Tokyo Metro Ginza Line |
| JR総武線 | JR Chuo-Sobu Line | 東京メトロ丸の内線 | Tokyo Metro Marunouchi Line |
| 都営大江戸線 | Toei Subway Oedo Line | | |

01 東京都庭園美術館

Tokyo Metropolitan Teien Art Museum



改修工事のため全面休館中 2014年11月22日リニューアル開館
 TEMPORARILY CLOSED FOR RENOVATIONS - REOPEN ON NOVEMBER 22, 2014

所在地:〒108-0071 港区白金5-21-9 交通:JR目黒駅東口・東急目黒線目黒駅正面口より徒歩7分、都営三田線・東京メトロ南北線白金台駅1番出口より徒歩6分 休館日:第2・第4水曜日(祝日の場合は翌木曜日)、年末年始 開館:10:00-18:00
 Address: 5-21-9 Shirokanedai, Minato-ku, Tokyo 108-0071 Closed: 2nd and 4th Wednesday (or Thursday when Wednesday falls on a national holiday) and New Year holidays Open: 10:00-18:00
 Tel: 03-3443-0201 URL: www.teien-art-museum.ne.jp
 ※上記の情報は休館前のものです
 *The above information is for reference only. The museum is temporarily closed for renovations.

02 東京都江戸東京博物館

Tokyo Metropolitan Edo-Tokyo Museum



所在地:〒130-0015 墨田区横網1-4-1 交通:JR両国駅西口より徒歩3分、都営大江戸線両国駅A4 出口より徒歩1分 休館日:月曜日(祝日・振替休日の場合はその翌日)、年末年始 観覧料:常設展は一般600円、大学生480円、65歳以上・都外中・高校生300円、都内中・小学生以下は無料 開館:9:30-17:30(土曜日-19:30)
 Address: 1-4-1 Yokoami, Sumida-ku, Tokyo 130-0015 Closed: Mondays (or Tuesday when Monday falls on a national holiday) and New Year holidays Admission Fee: Adults ¥600/Students (College/University) ¥480/Seniors (65 and over), Junior high school (outside of Tokyo) and high school students ¥300 Open: 9:30-17:30 (-19:30 Saturday)
 Tel: 03-3626-9974 URL: www.edo-tokyo-museum.or.jp

03 江戸東京たてもの園

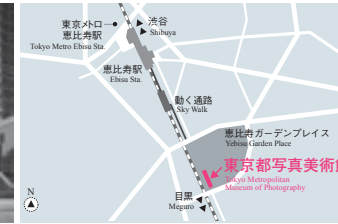
Edo-Tokyo Open Air Architectural Museum



所在地:〒184-0005 小金井市桜町3-7-1 交通:JR 武蔵小金井駅北口よりバス2番3番乗り場より「小金井公園西口」下車徒歩5分、西武新宿線小金井駅南口よりバス「南花小金井」(小金井街道沿い)バス停より「武蔵小金井駅」行、「小金井公園西口」下車徒歩5分 休館日:月曜日(祝日・振替休日の場合はその翌日)、年末年始 観覧料:一般400円、大学生320円、65歳以上・都外中・高校生200円、都内中・小学生以下は無料 開館:9:30-16:30(4-9月-17:30)
 Address : 3-7-1 Sakura-cho, Koganei-shi, Tokyo 184-0005 Closed: Mondays (or Tuesday when Monday falls on a national holiday) and New Year holidays Admission Fee: Adults ¥400/Students (College/University) ¥320/Seniors (65 and over), Junior high school(outside of Tokyo) and high school students ¥200 Open: 9:30-16:30 (-17:00, Apl.-Sep.)
 Tel: 042-388-3300 URL: www.tatemonoen.jp

04 東京都写真美術館

Tokyo Metropolitan Museum of Photography



改修工事のため全面休館中 2016年8月末リニューアル開館予定
 TEMPORARILY CLOSED FOR RENOVATIONS - WILL REOPEN IN LATE AUGUST OF 2016

所在地:〒153-0062 目黒区三田1-13-3(恵比寿ガーデンプレイス内) 交通:JR恵比寿駅東口より徒歩7分、東京メトロ日比谷線恵比寿駅より徒歩10分 休館日:月曜日(祝日・振替休日の場合はその翌日)、年末年始 開館:10:00-18:00(木・金曜日-20:00)
 Address: Yebisu Garden Place, 1-13-3 Mita, Meguro-ku, Tokyo 153-0062 Closed: Mondays (or Tuesday when Monday falls on a national holiday) and New Year holidays Open:10:00-18:00 (-20:00 Thursdays and Fridays) Tel: 03-3280-0099 URL: www.syabi.com
 ※上記の情報は休館前のものです
 *The above information is for reference only. The museum is temporarily closed for renovations.

05 東京都現代美術館

Museum of Contemporary Art Tokyo

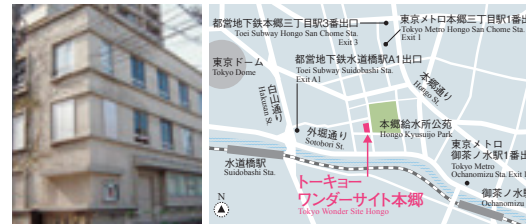


所在地:〒135-0022 江東区三好4-1-1 **交通:**東京メトロ半蔵門線清澄白河駅B2出口より徒歩9分、都営大江戸線清澄白河駅A3出口より徒歩13分、東京メトロ東西線木場駅3番出口より徒歩15分、バス停「木場駅前」から(業10)「とうきょうスカイツリー」駅前行、(東20)「錦糸町駅前」行、JR東京駅丸の内北口2番乗り場よりバス(東20)「錦糸町駅前」行、すべて「東京都現代美術館前」下車
休館日:月曜日(祝日・振替休日の場合はその翌日)、年末年始 **観覧料:**常設展は一般500円、大学生400円、高校生・65歳以上250円、中学生以下無料 **開館:**10:00-18:00

Address: 4-1-1 Miyoshi, Koto-ku, Tokyo 135-0022 **Closed:** Mondays (or Tuesday when Monday falls on a national holiday) and New Year holidays **Admission Fee:** Adults ¥500/Students (College /University) ¥400/High school students and seniors (65 and over) ¥250 **Open:** 10:00-18:00
Tel: 03-5245-4111 **URL:** www.mot-art-museum.jp

09 トーキョーワンダーサイト本郷

Tokyo Wonder Site Hongo



所在地:〒113-0033 文京区本郷2-4-16 **交通:**JR 御茶ノ水駅御茶ノ水橋口・水道橋駅東口、都営三田線水道橋駅A1出口、東京メトロ丸の内線本郷三丁目駅1番出口、御茶ノ水駅1番出口、都営大江戸線本郷三丁目駅3番出口より各徒歩7分 **休館日:**月曜日(祝日・振替休日の場合はその翌日)、年末年始 **開館:**11:00-19:00
Address: 2-4-16 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo 113-0033 **Closed:** Mondays (or Tuesday when Monday falls on a national holiday) and New Year holidays **Open:** 11:00-19:00
Tel: 03-5689-5331 **URL:** www.tokyo-ws.org

06 東京都美術館

Tokyo Metropolitan Art Museum



所在地:〒110-0007 台東区上野公園8-36 **交通:**JR上野公園口より徒歩7分、東京メトロ銀座線・日比谷線上野駅7番出口より徒歩10分、京成電鉄上野駅より徒歩10分

休館日:第1・第3月曜日、特別展・企画展は月曜日(祝日・振替休日の場合はその翌日)、年末年始 **開館:**9:30-17:30(特別展開催中の金曜日は20:00まで)

Address: 8-36 Ueno-Koen, Taito-ku, Tokyo 110-0007 **Closed:** Rental Gallery: 1st and 3rd Monday and New Year holidays / Special Exhibition Gallery: Mondays (or Tuesdays when Monday falls on a national holiday) and New Year holidays **Open:** 9:30-17:30 (Special Exhibition: 20:00 Friday)
Tel: 03-3823-6921 **URL:** www.tobikan.jp

10 トーキョーワンダーサイト渋谷

Tokyo Wonder Site Shibuya



所在地:〒150-0041 渋谷区神南1-19-8 **交通:**JR・東急東横線・田園都市線・京王井の頭線・東京メトロ銀座線・半蔵門線・副都心線渋谷駅ハチ公口より徒歩8分 **休館日:**月曜日(祝日・振替休日の場合はその翌日)、年末年始 **開館:**11:00-19:00

Address: 1-19-8 Jinnan, Shibuya-ku, Tokyo 150-0041 **Closed:** Mondays (or Tuesday when Monday falls on a national holiday) and New Year holidays **Open:** 11:00-19:00
Tel: 03-3463-0603 **URL:** www.tokyo-ws.org

07 東京文化会館

Tokyo Bunka Kaikan



改修工事のため全面休館中 2014年12月1日リニューアル開館
TEMPORARILY CLOSED FOR RENOVATIONS - REOPEN ON DECEMBER 1, 2014

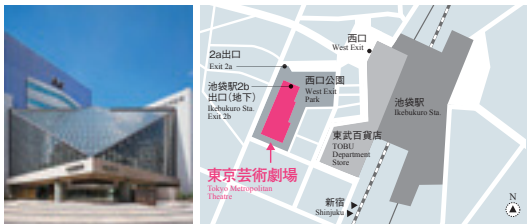
所在地:〒110-8716 台東区上野公園5-45 **交通:**JR上野公園口より徒歩1分、東京メトロ銀座線・日比谷線上野駅7番出口より徒歩5分、京成電鉄上野駅より徒歩7分 **休館日:**年末年始 **開館:**9:00-22:00

Address: 5-45 Ueno-Koen, Taito-ku, Tokyo 110-8716 **Closed:** New Year holidays **Open:** 9:00-22:00
Tel: 03-3828-2111 **URL:** www.t-bunka.jp

※上記の情報は休館前のもので
*The above information is for reference only. The museum is temporarily closed for renovations.

08 東京芸術劇場

Tokyo Metropolitan Theatre



所在地:〒171-0021 豊島区西池袋1-8-1 **交通:**JR・東京メトロ・東武東上線・西武池袋線池袋駅西口より徒歩2分、地下通路2b出口直結 **休館日:**年末年始 **開館:**9:00-22:00

Address: 1-8-1 Nishi-Ikebukuro, Toshima-ku, Tokyo 171-0021 **Closed:** New Year holidays **Open:** 9:00-22:00
Tel: 03-5391-2111 **URL:** www.geigeki.jp

ART NEWS TOKYO 2014.10-12

発行日 : 2014年10月1日(季刊)1、4、7、10月発行
発行 : 公益財団法人東京都歴史文化財団
〒130-0015 東京都墨田区横網1-4-1 Tel. 03-5610-3503
企画 : 公益財団法人東京都歴史文化財団 事務局総務課企画広報係
編集 : 株式会社美術出版社
デザイン : 宮外麻周(m-nina)
翻訳 : 株式会社アーバン・コネクションズ
印刷・製本 : 富士美術印刷株式会社

© Tokyo Metropolitan Foundation for History and Culture. All rights reserved.

本誌掲載の記事、写真の無断複写、複製を禁じます。

※掲載した情報は2014年9月現在の情報です。やむを得ない事情などで開催予定などが変更になることがあります。



トーキョー・アート・ナビゲーション携帯サイト
tokyoartnavi.jp

東京芸術劇場

Tokyo Metropolitan Theatre

- コンサートホール Concert Hall
- シアターウエスト Theatre West
- プレイハウス Playhouse
- シアターイースト Theatre East

10 October

休館日：6・20日
Closed: 6 Mon, 20 Mon

9月29日～13日 プレイハウス Playhouse

「小指の思い出」

作 野田秀樹

演出 藤田貴大

出演 勝地涼、鈴木法水／松重豊 ほか

料金 S席5,500円、A席4,500円 ほか

Koyubino omoide (Memory of the Little Finger)

Text: Hideki Noda

Direction: Takahiro Fujita

Cast: Ryo Katsuji, Norimizu Ameya, Yutaka Matsushige and others.

Admission: S seats: ¥5,500, A seats: ¥4,500, etc.

2日 コンサートホール・エントランス(5階) Concert Hall Entrance(5F)

東京芸術劇場ティールタイム・コンサートVol.8

開演:14:00 出演:大阪市音楽団メンバーによる金管五重奏

料金:全席自由 入場無料(定員150名程度)

曲目:宮川泰／「宇宙戦艦ヤマト」より

Tokyo Metropolitan Theatre Teatime Concert Vol.8

Start: 14:00

Performer: Osaka Shion Brass Quintetto

Admission: Free

2日～26日 シアターウエスト Theatre West

二兎社公演39「鵲外の怪談」

作・演出:永井愛

出演:金田明夫、水崎綾女、内田朝陽、佐藤祐基、高柳純子、大方

斐紗子、若松武史 料金:全席指定 一般5,600円 ほか

「Ghost Story of Ogai」 by Nitosha theater

Text, Direction: Ai Nagai

Performer: Akio Kaneda, Ayame Misaki, Asahi Uchida, Yuki Sato,

Ayako Takayanagi, Hisako Okata, Takeshi Wakamatsu

Admission: ¥5,600, etc.

10日 コンサートホール Concert Hall

モンテリオール交響楽団

開演:19:00

出演:ケント・ナガノ(指揮)、五嶋龍(ヴァイオリン)、モンテリオール

交響楽団

曲目:ドビュッシー／交響詩「海」、ストラヴィンスキー／ヴァイオリン

協奏曲、ムソルグスキー(ラヴェル編曲)／組曲「展覧会の

絵」 料金:全席指定 S席18,000円、A席13,000円 ほか

Orchestre symphonique de Montréal

Start: 19:00

Performer: Kent Nagano (Conductor), Ryu Goto (Violin), Orchestre

symphonique de Montréal

Admission: S seats: ¥18,000, A seats: ¥13,000, etc.

14日 コンサートホール Concert Hall

前橋汀子 デイライト・コンサート Vol.2

開演:11:30

出演:前橋汀子(ヴァイオリン)、松本和将(ピアノ)

曲目:クライスラー／美しきロスマリン、ヴェニチヤフスキー／モス

クワの思い出 ほか

料金:全席指定 2,000円

Teiko Maehashi Day Light Concert Vol.2

Start: 11:30

Performer: Teiko Maehashi (Violin), Kazumasa Matsumoto (Piano)
Admission: ¥2,000

16日 コンサートホール Concert Hall

東京芸術劇場ナイトタイム・バイオルガンコンサートVol.7

開演:19:30 出演:近藤岳

曲目:ヴェルヌ／オルガン交響曲第6番 ほか

料金:全席指定 1,000円

Tokyo Metropolitan Theatre Nighttime Organ Concert

Start: 19:30

Performer: Takeshi Kondo

Admission: ¥1,000

18日 コンサートホール Concert Hall

東京芸術劇場Presentsプラスウィーク2014

東京吹奏楽団 第61回定期演奏会

開演:14:00 出演:大井剛史(指揮)、東京吹奏楽団

曲目:J.S.バッハ／トッカータとフーガ ニ短調、K.フサ／ブラハの

ための音楽1968

料金:全席指定 S席5,000円 ほか

Tokyo Wind Symphony Orchestra, The 61st Concert

Start: 14:00

Performer: Takeshi Ooi (Conductor), Tokyo Wind Symphony Orchestra

Admission: S seats: ¥5,000, etc.

19日～11月2日 シアターイースト Theatre East

「ポリグラフー嘘発見器」◎

構想・脚本:マリー・ブラッサール／ロベール・ルバージュ

翻訳:松岡和子 演出:吹越満 出演:森山開次、太田緑ロラン

ス、吹越満 料金:全席指定 前売5,000円(当日5,500円) ほか

LE POLYGRAPHE

Text, Concept: Marie Brassard/Robert Lepage

Japanese text translation: Kazuko Matsuoka

Direction: Mitsuru Fukikoshi

Performer: Kaiji Moriyama, Midori Laurence Ota, Mitsuru Fukikoshi

Admission: advance ticket: ¥5,000, etc.

24日～31日 プレイハウス Playhouse

東京芸術劇場×明洞芸術劇場 国際共同制作「半神」◎

原作・脚本:萩尾望都 脚本・演出:野田秀樹

出演:チュ・イヨン、ジョン・ソンミン、オ・ヨン、イ・ヒョンフン ほか

料金:全席指定 S席5,000円、A席4,000円 ほか

Half Gods

Based on the original comic by Moto Hagio

Written by Hideki Noda and Moto Hagio

Directed by Hideki Noda

Performer: In-Young JOO, Sung-Min JUN, Yong OH, Hyong-Hun LEE

Admission: S seats: ¥5,000, A seats: ¥4,000, etc.

30日 コンサートホール Concert Hall

ラドミル・エリシュカ&読売日本交響楽団

開演:19:00 出演:ラドミル・エリシュカ(指揮)、河村尚子(ピ

アノ)、読売日本交響楽団

曲目:スメタナ／歌劇「売られた花嫁」序曲、モーツァルト／ピ

アノ協奏曲第21番、ドヴォルザーク／交響曲第9番「新世界より」

料金:全席指定 S席6,000円、A席5,000円 ほか

Radomil Eliška & Yomiuri Nippon Symphony Orchestra, Tokyo

Start: 19:00 Performer: Radomil Eliška (Conductor), Hisako

Kawamura (Piano), Yomiuri Nippon Symphony Orchestra, Tokyo.

Admission: S seats: ¥6,000, A seats: ¥5,000, etc.

11 November

休館日：10・17日
Closed: 10 Mon, 17 Mon

2日 コンサートホール Concert Hall

スーパーコンチェルト

開演:14:00

出演:イニャキ・エンシーナ・オヨン(指揮)、マリオ・ヘリング(ピ

アノ)、モナ・飛鳥・オット(ピアノ)、ジョセフ・リン(ヴァイオリン)、シ

アターオーケストラオーケストラ

曲目:ラフマニノフ／ピアノ協奏曲第2番、グリーグ／ピアノ協奏

曲、シベリウス／ヴァイオリン協奏曲

料金:S席8,500円、A席7,000円、B席5,500円

Super Concerto

Start: 14:00

Performer: Iñaki Encina Oyón (Conductor), Mario Häring (Piano) Mona

Asuka Ott (Piano), Joseph Lin (Violin), Theater Orchestra Tokyo

Admission: S seats: ¥8,500, A seats: ¥7,000, B seats: ¥5,500

20日 コンサートホール Concert Hall

東京芸術劇場ランチタイム・バイオルガンコンサートVol.108

開演:12:15 出演:川越聡子(オルガン)

料金:全席自由 500円

Tokyo Metropolitan Theatre Lunchtime Organ Concert Vol.108

Start: 12:15 Performer: Satoko Kawagoe (Organ) Admission: ¥500

20日 コンサートホール・エントランス(5階)
Concert Hall Entrance (5F)

クラシカル・プレイヤーズ東京 室内楽演奏会シリーズ vol.3

「オリジナル楽器で聴くフルートトリオ」

開演:19:00

出演:有田正広・前田りり子・菅きよみ(フルート)、エマニュエル・

ジラル(チェロ)

曲目:J.ハイドン／2本のフルートとチェロのためのトリオ第3番

ほか

料金:全席自由 2,000円(150席予定)

Classical Players Tokyo chamber music Concert

Start: 19:00 Performer: Masahiro Arita, Liliko Maeda, Kiyomi Suga

(Flute), Emmanuel Girard (Cello) Admission: ¥2,000

28日～12月14日 シアターイースト Theatre East

イクイメ2014冬新作公演

作・演出:前川知大

出演:浜田信也、伊勢佳世、安井順平、盛隆二、岩本幸子、森下

創、大窪人衛

料金:全席指定 前売4,200円(当日4,400円)

Ikiume

Text・Direction:Tomohiro Maekawa

Performer: Shinya Hamada, Kayo Ise, Junpei Yasui, Ryuji Mori,

Sachiko Iwamoto, Soh Morishita, Hitoe Ohkubo

Admission: advance ticket ¥4,200, on the day ¥4,400

12 December

休館日：8・28～31日
Closed: 8 Mon, 28 Sun-31 Wed

6日 コンサートホール Concert Hall

第5回音楽大学オーケストラ・フェスティバル2014

国立音楽大学&桐朋学園大学

開演:15:00

出演:高関健(指揮)&国立音楽大学(管弦楽)

ラデク・バボラーク(指揮)&桐朋学園大学(管弦楽)

曲目:ブルックナー／交響曲第7番 [ハース版]、ブラームス／交響

曲 第1番 ほか 料金:全席指定 1,000円

2014 Festival of Music University Orchestras vol.5

Start: 15:00

Performer: Ken Takaseki (Conductor), Kunitachi College of Music /

Radek Baborák (Conductor), Toho Gakuen College Admission: ¥1,000

7日 コンサートホール Concert Hall

第5回音楽大学オーケストラ・フェスティバル2014

東邦音楽大学&東京音楽大学

開演:15:00

出演:田中良和(指揮)&東邦音楽大学(管弦楽)

川瀬賢太郎(指揮)&東京音楽大学(管弦楽)

曲目:ブラームス／交響曲第4番.R.シュトラウス／交響詩「英雄の

生涯」 料金:全席指定 1,000円

2014 Festival of Music University Orchestras vol.5

Start: 15:00

Performer: Yoshikazu Tanaka (Conductor), Toho College of Music /

Kentarō Kawase (Conductor), Tokyo College of Music Admission: ¥1,000

16日 コンサートホール Concert Hall

バイオルガンコンサートVol.18

開演:19:00

出演:ラデク・バボラーク(ホルン)、アレシヴァルタ(オルガン)

曲目:J.S.バッハ／コラール「目覚めよ、と呼ぶ声あり」BWV645、ブ

ルックナー(ボク編)／「交響曲第7番」より第2楽章アダージョ、

クリスマス・キャロル ほか 料金:全席指定 一般2,500円、ペア

4,000円、25歳以下1,000円

Tokyo Metropolitan Theatre Organ Concert Vol.18

Start:19:00

Performer: Radek Baborák (Horn), Aleš Bárta (Organ)

Admission: Adult: ¥2,500, Pair: ¥4,000, Under aged 25 ¥1,000

25日 コンサートホール・エントランス(5階) Concert Hall Entrance (5F)

東京芸術劇場ティールタイム・コンサートVol.9 クリスマス・ジャズ

開演:14:00

出演:浜崎航(サクソフォーン)、松本茜(ピアノ)、海野俊輔(ドラ

ム)、本川悠平(ベース)、kuriko(タップ)

曲目:ザ・クリスマス・ソング

料金:全席自由 入場無料(定員150名程度)

Tokyo Metropolitan Theatre Teatime Concert Vol.9

Start:14:00

Performer: Wataru Hamasaki (Saxophone), Akane Matsumoto (Piano),

Shunsuke Umino (Drums), Yuhei Honkawa (Bass), kuriko (Tap Dance)

Admission: Free